

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

平成29年度9月11日（月） VI-1会場 （九州大学伊都キャンパス センター2号館2301教室）

■9:00～10:20 ダム(1) / 座長:山下 哲一

- VI-001 切削機を用いたダムコンクリートの越冬面チッピングについて／西松建設 [F] 西田 德行・佐藤 幸三・大石 一明・八木 秀親・飯田 英厚
- VI-002 ダム天端橋におけるP C桁縦取り装置を使用した桁架設施工実績／鹿島建設 [正] 阿部 高・片山 幸也・速野 武志・仲高 信義・井上 功平
- VI-003 現場製作によるエレベータシャフトブレイキャスト型枠の適用／鹿島建設株式会社 [正] 小田 朋輝・奈須野 恭伸・沼本 仁志・人見 志郎
- VI-004 底部架台上に設置する仮締切りの施工実績／鹿島建設株式会社 [正] 大木 洋和・竹内 伸一・椿 治彦・川中 勲・田窪 宏朗
- VI-005 ダム再開発工事における放流管仮締切りゲートの設計変更とその経緯／鹿島建設 [正] 楠木 寛士・沼本 仁志
- VI-006 ゲート更新工事の工程短縮実績（笠場ダム嵩上げ工事報告）／鹿島建設株式会社 [正] 水上 裕治・門脇 要・萩原 康之・柴田 勝博・林 拓郎
- VI-007 ダム再開発工事におけるバケットカーブ部の既設取壊しおよびコンクリート工事の施工実績／鹿島建設 [正] 水野 浩尚・沼本 仁志
- VI-008 低振動工法による既設構造物取壊しの実績報告／鹿島建設 (株) [正] 和田 篤・福井 直之・中村 元郎・渡部 貴裕・尾口 佳丈

■10:40～12:00 ダム(2) / 座長:佐藤 英明

- VI-009 ダムコンクリートの締固め評価システムの高度化／安藤ハザマ [正] 林 俊斉・山田 聡・天明 敏行・峯岸 淳一
- VI-010 冷風ミストを用いた粗骨材冷却によるコンクリート温度の抑制実績／鹿島建設 [正] 藤田 祐作・近藤 正芳・沼本 仁志・奈須野 恭伸・人見 志郎
- VI-011 中唐熱フライアッシュコンクリートの長期強度発現性に関する一考察／鹿島建設 (株) [正] 内田 典男・豊増 隆敏・取達 剛・平田 優己・林 健二
- VI-012 既設コンクリートダムの長寿命化に向けた新工法による漏水対策の検討／独立行政法人水資源機構 [正] 藤田 将司・市川 滋己・田野 弘明
- VI-013 低品質原石骨材を用いたダムコンクリートの長期暴露試験／独立行政法人水資源機構 [正] 市川 滋己・藤田 将司・木戸 研太郎
- VI-014 液体窒素を用いたブレイキングの適用実績／鹿島建設 (株) 技術研究所土木材料グループ [正] 小林 貴・稲見 哲男・櫻井 祥貴・小倉 精太・奈須野 恭
- VI-015 止水性・付着性を考慮したダム既設水圧管内の閉塞コンクリートの施工実績／鹿島建設株式会社 [正] 藤野 賢一・金戸 崇史
- VI-016 ダム堤体の温度ひび割れ抑制対策／清水建設 [正] 中野 貴公・江渡 正満・長谷川 悦央・平塚 毅・宮田 佳和

■15:20～16:40 ダム(3) / 座長:宮入 斎

- VI-017 ダム基礎岩盤の透水特性を考慮した斜孔グラウチングの施工実績／鹿島建設 [正] 大井 篤・佐藤 功基・阿部 高・井上 功平・川部 優太
- VI-018 ダム天端道路を迂回路として一般供用した仮設構台の施工実績／鹿島建設 [正] 沼本 仁志・楠木 寛士
- VI-019 画像粒度モニタリングを用いたフィルタ材製造時の粒度変動監視／鹿島建設 [正] 上本 勝広・さくらい しょうき・うめだ ひかり・ふじさき だいき・なすの やすのぶ
- VI-020 大分川ダムにおけるICT施工／鹿島建設 [正] 奈須野 恭伸・岩崎 征弘・櫻井 祥貴・寺本 淳一・上本 勝広
- VI-021 CS G品質管理システムの運用状況についての報告—その1：画像処理による粒度推定技術の運用状況に関する報告—／前田建設工業 [正] 田中 麻穂・國井 聡・笹倉 伸晃・安井 利彰・安田 成夫
- VI-022 品質管理システムの運用状況についての報告—その2：表面水量の算出方法に関する検討—／前田建設工業 [正] 國井 聡・田中 麻穂・笹倉 伸晃・安井 利彰・安田 成夫
- VI-023 着岩処理に湿式吹付工法を使用した堤体の盛立／鹿島建設 [正] 加納 清・奈須野 恭伸・寺本 淳一・上本 勝広・川野 健一

■17:00～18:20 調達 / 座長:梅津 芳樹

- VI-024 維持修繕工事の調達支援に関する取り組み／国土交通省国土技術政策総合研究所 [正] 森 芳徳・古本 一司・竹屋 宏樹・吉田 武教
- VI-025 港湾工事の積算に関する一考察／港湾空港総合技術センター [正] 島田 伊浩・見波 登・丸山 裕之
- VI-026 海外建設プロジェクトにおける契約管理に関する一考察／東洋大学理工学部都市環境デザイン学科 [正] 鈴木 信行
- VI-027 調査・設計等業務の総合評価落札方式に関する現状分析／国土交通省 国土技術政策総合研究所 [正] 菊田 友弥・根津 佳樹・小川 智弘・永田 耕之・岸澤 啓
- VI-028 総合評価落札方式の技術提案評価型（S型）における改善方針について／国土技術政策総合研究所 [正] 大野 真希・小川 智弘・富澤 成実・竹下 正一・三輪 真揮
- VI-029 総合評価落札方式・技術提案評価A型工事のリスク事例に関する調査／国土技術政策総合研究所 [正] 中洲 啓太・小川 智弘・大野 真希・大沼 孝之・尾浦 猛人
- VI-030 橋梁の長寿命化修繕事業における調達方式の改善に関する一考察／八千代エンジニアリング [正] 山本 浩貴・野田 一弘・神永 希・高橋 洋一
- VI-031 競争入札後の「不調特命見積協議方式」による調達について—契約制限価格を上回っても契約できる制度—／中日本高速道路株式会社 [正] 名井 乃

平成29年度9月12日（火） VI-1会場 （九州大学伊都キャンパス センター2号館2301教室）

■9:00～10:20 橋梁(1) / 座長:宇野 洋志城

- VI-032 橋梁上床版上面における養生効果の一検討／鹿島建設 [正] 山崎 大介・戸張 正利・渡邊 賢三・岡本 裕昭・温品 達也
- VI-033 光ファイバを用いたP C張力計測技術の外ケーブルへの適用実績／鹿島建設 (株) [正] 曾我部 直樹・佐藤 正・松原 喜之・中上 晋志・南雲 広幸
- VI-034 平成28年熊本地震で被災したロッキング橋脚を有する橋梁の構造変更について／西日本高速道路 (株) 九州支社沖縄高速道路事務所 [正] 西谷 朋晃・岩尾 省吾・工藤 昌生
- VI-035 国道45号 摂待道路工事における橋梁上・下部工の施工（摂待大橋）／大成建設 [正] 中 隆司・福原 俊一・高次 渉・三浦 弘志・宮澤 祐藏
- VI-036 鋼橋の塗装塗装における素地調整用プラストショット材の検討／ (株) 富士技建 [正] 水内 将司・樋口 直哉・城戸 靖彦
- VI-037 上げ越し計算における諸条件が与える影響検討／清水建設 [正] 鈴木 貴大・小林 顕・栃木 謙一
- VI-039 長大P C斜張橋における施工合理化へ向けた取組み／清水建設 株式会社 [正] 宮永 泰光・栃木 謙一・小林 顕

■10:40～12:00 橋梁(2) / 座長:小林 顕

- VI-040 主桁断面寸法の変化に対応した鉄筋先組工法の開発／鹿島建設 [正] 熊部 淳・浦尾 賢一・秋山 清・大村 恵治
- VI-041 主桁断面寸法の変化に対応した鉄筋先組工法の適用実績／鹿島建設 [正] 酒井 大輔・浦尾 賢一・秋山 清・尾鍋 卓巳
- VI-042 小松川ジャンクションにおける既設橋脚のラーメン化改築工事／首都高速道路 [正] 田中 大介・山本 一昭
- VI-043 河川上空における高速道路拡幅工事の施工計画／首都高速道路 [正] 大西 達也・高川 邦博・深谷 道夫・岩川 貴志
- VI-044 橋脚の施工における工程短縮の取組み／西日本高速道路株式会社 [正] 古賀 泰輔・大原 一也
- VI-045 P Cラーメン箱桁橋柱頭部の合理化施工 - 中島高架橋の設計 - ／株式会社 大林組 [正] 坪倉 辰雄・高橋 秀武・石橋 知幸・永江 祥治・大場 誠道
- VI-046 高架橋のセグメント製作・スパンバイスパン工法による架設について／東急建設 [正] 長野 竜馬・富田 佑一・中田 直樹・永島 裕太

平成29年度9月13日（水） VI-1会場 （九州大学伊都キャンパス センター2号館2301教室）

■9:00～10:20 建設マネジメント(1) / 座長:大沼 和弘

- VI-047 三条市における包括的維持管理業務の導入について／パシフィックコンサルタンツ [正] 村松 和也・小山 正幸・山井 敦・稲光 信隆・田中 滋士
- VI-048 鋼床版の疲労亀裂発生予測に基づく大規模修繕対象箇所の選定／大阪大学大学院工学研究科 [学] 二宮 陽平・貝戸 清之・小林 潔司
- VI-049 土壌汚染対策事業に上位マネジメント手法導入の必要性／国際航空 [正] 下池 季樹・角南 安紀
- VI-050 地層処分エンジニアリング統合支援システム（i S R E）の開発（その4）—i S R Eのプロトタイプの開発状況—／八千代エンジニアリング (株) 総合事業本部情報技術部 [正] 吉野 博之・藤澤 康雄・小林 優一・杉田 裕
- VI-051 地層処分エンジニアリング統合支援システム（i S R E）の開発（その5）—i S R Eのプロトタイプの実運用—／鹿島建設 [正] 羽根 幸司・佐原 史浩・吉野 博之・杉田 裕・篠山 武志
- VI-052 復興CM方式の実績～仮設店舗の営業を確保した工事展開の事例／大林組 [正] 谷和男・西 彰一
- VI-053 CM方式の中で提案した高台造成工事におけるベルトコンベアの適用事例／大林組 [正] 川田 知一・西 彰一
- VI-054 CM方式導入による事業への効果推計手法の基礎的検討／高知工科大学 [正] 五艘 隆志・近藤 仁・榎本 紳

■10:40～12:00 建設マネジメント(2) / 座長:嵩 直人

- VI-055 ウェアラブルセンサを用いた疲労評価システムに対するリスクマネジメント／安藤ハザマ [正] 大沼 和弘
- VI-056 計画・設計段階から考える工事安全の海外事例調査／労働安全衛生総合研究所 [正] 大幡 勝利・吉川 直孝・高橋 弘樹・豊澤 康男
- VI-057 契約真意の解釈についての一考“真意は契約文言にあらず本質にあり”／前田建設工業 (株) [F] 酒井 照夫
- VI-058 公共工事請負契約における受発注者協議の可視化の提案／大阪大学 [正] 浜田 成一・貝戸 清之・水谷 大二郎・杉原 栄作
- VI-059 次世代インフラに向けた建設マネジメントに関する調査研究／西武建設 [正] 成島 誠一・濱中 誠司・荒井 竜司・中谷 武彦・柳沢 佳奈子
- VI-060 建設産業が有する技術力の国際展開に向けた課題 - 栃木県の中小企業を対象として - ／宇都宮大学 [正] 山岡 暁・松本 美紀
- VI-061 ポスト 2020 のシビル産業とみんながグローバル シビルエンジニアへ向けて（その3）—リアルオプション計画と国民性の距離を考慮したグローバル展開—／東海コンサルタンツ [F] 西 満幸
- VI-062 九州・山口地域における自治体のインフラ維持管理に関する実態調査／長崎大学大学院 [正] 田中 徹政・松田 浩・牧角 龍憲・高橋 和雄

■15:20～16:40 建設マネジメント(3) / 座長:今石 尚

- VI-063 開発途上国における鉄線龍工の実用性に関する現地資料に基づく考察／八千代エンジニアリング 国際事業本部 [正] 横倉 順治
- VI-064 水災害・環境シミュレーションのためのAR可視化システムの構築／中央大学大学院 [学] 花立 麻衣子・池田 直旺・榎山 和男・宮地 英生・前田 勇司

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-065	東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの構築と展開／東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センター [正] 渡邊 弘子・久田 真・鎌田 貢・高橋 香・菊池 加奈子
VI-066	土木行政に関わる技術職員のモチベーションに影響を与える要因分析モデルの構築／高知大学医学部附属病院 [正] 二宮 仁志・渡邊 法美
VI-067	文系出身者に対する土木技術者への再教育／高島テクノロジーセンター [F] 和久 昭正
VI-068	公共調達制度改革と技術者モチベーションに関する一考察／高知工科大学 [正] 渡邊 法美・王 玲玲・二宮 仁志・五艘 隆志・佐橋 義仁
VI-069	建設プロセスを活用した人材育成の取り組みについて／東京工業大学 [学] 栗原 遼大・合屋 力・杉島 貴史・野田 顕・藤原 寛和
VI-070	建設コンサルティング業務の市場構造モデルに関する探索的研究／建設技術研究所 [正] 中島 裕之・二宮 仁志・渡邊 法美

平成29年度9月11日（月） VI-2会場（九州大学伊都キャンパス センター2号館2302教室）

■9:00～10:20 鉄道(1) / 座長:小林 寿子

VI-071	フライアッシュの置換率を変化させたコンクリートによる試験期間6年のモルタルバー法による試験結果／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 山下 修史・小林 薫・井口 重信
VI-072	鋼鉄道橋におけるポリマーセメントを用いた長寿命化対策・環境対策の経過報告／前橋工科大学 [正] 谷口 望・松浦 史朗・佐竹 紳也・杉野 雄亮・赤江 信哉
VI-073	工事桁本設化における高流動コンクリートへの流動性保持を目的とした混和剤の適用／(株)大林組東京駅土木工事事務所 [正] 奥村 拓也・中里 盛道・末宗 利隆
VI-074	過密鉄筋の高架橋構築におけるフライアッシュを混入した高流動コンクリート／大成建設 [正] 佐藤 文彦・竹田 靖・江口 大介・米谷 健治
VI-075	線路ボックスカルバートの部材寸法と鉄筋量に関する検討／ジェイアール東海コンサルタンツ [正] 柳川 一心・石橋 孝通・今枝 潤志
VI-076	導水機能付きのトンネル剥落対策工法の断熱効果の検証／東日本旅客鉄道 [正] 金塚 智洋・古川 武英・関口 達也・相澤 朗徳・露木 寿
VI-077	鉄道トンネル覆工裏空間への一液型可塑性注入材の適用／J R東海 [正] 蚊津見 和雅・田川 謙一・秋好 賢治・上垣 義明

■10:40～12:00 鉄道(2) / 座長:早川 博久

VI-078	J R飯田橋駅のホーム移設計画について／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 飯塚 直人
VI-079	既設高架橋を存置させた改修計画に関する設計施工事例／阪急設計コンサルタント(株)本社都市土木部 [正] 松本 尚衛・五貫 慎・山口 武志
VI-080	守谷追越設備軌道他工事の一考察／ユニオン建設 [正] 中嶋 祐介・飯田 進
VI-081	京都構内0番線軌道低下について／大鉄工業株式会社 [正] 下川 恭史
VI-082	銀座線渋谷駅改良工事における軌道工事の計画と施工について(第1回線路切替)／東京地下鉄株式会社 [正] 今井 奨・松川 俊介・大山 和利・増田 徹
VI-083	営業線駅の仮ホーム化および線路切替え工事実績／鹿島建設 [正] 小川 雄二・藤井 秀樹・伊原 貴志・乾 圭介
VI-084	有楽町線小竹向原駅～千川駅間連絡線設置工事における線路切替工事の計画と施工について／東京地下鉄株式会社 [正] 松川 俊介・金川 周平・佐藤 真丞・菊池 高志・豊永 翼
VI-085	大型土のうを活用した線路こう上を伴う大規模線路切換について／大鉄工業 [正] 前川 貴裕・野口 卓也

■15:20～16:40 鉄道(3) / 座長:北出 啓一郎

VI-086	架設桁を用いたボックスカルバート上床版一括撤去工法について／東日本旅客鉄道株式会社 東京支社 取手工区 [正] 植木 拓矢・門脇 実
VI-087	鉄道線路6線を跨ぐ線路上空における2径間連続鋼床版桁の架設／東日本旅客鉄道 [正] 三木 孝則・吉田 一・飯塚 大介・金森 道明・大石 安弘
VI-088	駅改良工事における線路上空での連絡通路架設／東日本旅客鉄道 [正] 池田 圭吾・中野 和也・和田 旭弘
VI-089	鉄道営業線直上部における2層トラス橋の架設工法選定から施工／大林組 [正] 浅沼 憲和・坪田 樹・川池 偉・山口 武志・大谷 大造
VI-090	鉄道クレーンによる工事桁一括撤去の施工記録及び施工報告について／J R東日本旅客鉄道株式会社 [正] 片山 拓人・石島 朝男
VI-091	線路閉鎖間合作業におけるトラス桁の横取り施工について／大鉄工業 [正] 高橋 亮一・松見 栄作
VI-092	上空制限を受ける在来線直上での桁送出し架設の実績及び架設後調整結果／東日本旅客鉄道 東北工区事務所 [正] 若狭 周次・花田 正喜・内藤 圭祐

■17:00～18:20 鉄道(4) / 座長:舟橋 秀磨

VI-093	鉄道営業線近接工事における移動昇降式足場の導入／東京地下鉄株式会社 [正] 武藤 義彦・田中 和也・金刺 広明・平木 智明
VI-094	移動式足場による営業線上での橋梁修繕工事について／東鉄工業 [正] 篠原 寿一・根本 晴透
VI-095	モノレール車両基地内軌道桁の耐震補強(その1)ー軌道敷内でのI Cタグによる持込み資器材管理ー／大阪高速鉄道 [正] 砂原 一貴・森川 佳則・一本松 新
VI-096	モノレール車両基地内軌道桁の耐震補強(その2)ー変位制限ブロックによる耐震性向上とその合理化ー／鹿島建設 [正] 西岡 省三・一本松 新・森川 佳則・砂原 一貴

VI-097	島式ホーム構築工事における施工条件改善策／大鉄工業株式会社 [正] 金山 幸司・西口 典之・杉山 明久
VI-098	ホームドア整備の推進に向けた盛土ホーム施工の効率化について／東日本旅客鉄道(株)東京支社東京土木技術センター [正] 小林 英司
VI-099	ホームドア整備における盛土式ホームの基礎施工技術／東鉄工業 [正] 小島 正寛・有馬 広明

平成29年度9月12日（火） VI-2会場（九州大学伊都キャンパス センター2号館2302教室）

■9:00～10:20 鉄道(5) / 座長:村上 達也

VI-100	U R Tエレメント推進時における推進精度、軌道管理等に関する報告／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 水野 さおり・岩井 俊之
VI-101	玉石地盤における営業線直下でのH E P & J E S工法の施工実績／東日本旅客鉄道株式会社 東北工区事務所 [正] 佐藤 駿・花田 正喜・内藤 圭祐
VI-102	東海道本線直下でのJ E S工法における粘性土地盤対策工の施工／東海旅客鉄道 [正] 児島 達也・原 正一郎
VI-103	鉄道直下における薬液注入工法の注入パイプに着目した性能比較／東鉄工業(株)水戸支店土木部 [正] 佐藤 将樹・草野 英明・竹内 仁哉・飯塚 潤平
VI-104	常磐線金町・松戸間における盛土耐震補強工事／東日本旅客鉄道株式会社 東京支社 東京土木技術センター [正] 小又 邦昭・鬼頭 和也・青柳 瑛佑
VI-105	盛土耐震補強における法尻地盤改良工法の選定事例／東鉄工業 [正] 鳥越 雅記・森 薫
VI-106	駅周辺の高高度利用地区における大型商業施設の附属義務駐輪場の施工／シーエス建設 [F] 丹間 泰郎・原 和彦

■10:40～12:00 鉄道(6) / 座長:栗林 健一

VI-107	I C T技術を活用した斜面等検査支援手法の開発／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 塩谷 敦・泉並 良二・福井 雄気・小西 亜紀子
VI-108	衛星を活用した鉄道沿線斜面面上における対象物検知に関する検討／東海旅客鉄道 [正] 小島 瑛太郎・舟橋 秀磨・今井 賢一
VI-109	S A R衛星を活用した鉄道沿線の災害検知手法の基礎検討／東海旅客鉄道 [正] 舟橋 秀磨・小島 瑛太郎・今井 賢一
VI-110	河川上流部で観測される情報を反映した水位予測／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 竹内 傑・河村 清春・唐木 大輔
VI-111	電気比抵抗による盛土内部水分の把握／J R東海 [正] 浅野 嘉文・大木 基裕・舟橋 秀磨・今井 賢一
VI-112	鉄道路線での落石対策工について／東日本旅客鉄道(株) 新潟土木技術センター [正] 永田 賢康・横井 進一・関口 達也・加藤 仁・片所 豪
VI-113	東海道本線 石部トンネルにおける冠水対策／J R東海 [正] 加藤 達也・長谷川 秀樹
VI-114	のり面工変状急進箇所における原因の特定と対策工の検討／J R東海 [正] 佐野 淳・井奈波 周一

平成29年度9月13日（水） VI-2会場（九州大学伊都キャンパス センター2号館2302教室）

■9:00～10:20 鉄道(7) / 座長:月館 洋

VI-115	河川橋脚の耐震補強における工期短縮の取組みについて／J R東日本 [正] 大澤 瑠・長岡 範夫・村田 祐亨
VI-116	軌きょうを反力とした小径鋼管杭打設治具の施工試験／東日本旅客鉄道 [正] 竹谷 勉・井口 重信・鈴木 辰彦
VI-117	J Rゲートタワー新設に伴う鉄道函体アンダーピーニング工事の施工結果／東海旅客鉄道 [正] 土屋 正宏・齋藤 力哉・小野寺 聡・片上 貴文・渡辺 典男
VI-118	鉄道ラーメン高架橋の連続アンダーピーニング工事の計画と施工実績／鹿島建設 [正] 伊藤 弘之・田中 誠・山本 信也・山道 芳徳
VI-119	鉄道営業線近接箇所における大口径超低空頭場所打ち杭工の施工実績(掘削速度)に関する一考察／東日本旅客鉄道株式会社 東京工区事務所 [正] 菊地 央・杉崎 向秀
VI-120	列車運行時間帯における軌道近接部での基礎杭掘削の施工管理／東日本旅客鉄道 [正] 大堀 将明・伊東 寛・橋本 詩織
VI-121	成田(我)線 成田・下総松崎間高架化工事における施工時の課題と対応について／J R東日本 [正] 大矢 新吾・小林 義雄・最首 勝

■10:40～12:00 鉄道(8) / 座長:堀 雄一郎

VI-122	鉄道保守困難箇所における施工紹介／東日本旅客鉄道(株) 千葉支社 [正] 穴倉 聡・鈴木 康弘・萩原 和子
VI-123	ポータブル吸音パネルの道床つき固め作業への導入／双葉鉄道工業 [正] 後藤 孝太・川田 大武・松田 芳文・西井 雅宏
VI-124	札幌市市営路面電車における急曲線ガードレール(R 2 0)の曲げ加工戻り度／札幌工業(株)線路部 [正] 石田 博之
VI-125	九州新幹線のスラブ軌道における脱線防止ガード新設／九鉄工業株式会社 [正] 池田 幸隆
VI-126	新型通り整正機の開発／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 小綿 貴幸・北井 健博
VI-127	継目落ち整正器の実用化に向けた検討／九州旅客鉄道 [正] 山口 寛史・力武 基樹・大久保 健吾・猿木 雄三
VI-128	当社が取組む機械品質の確保について／大鉄工業 [正] 白崎 研人・坂本 士

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

■15:20～16:40 鉄道(9) / 座長: 川崎 祐征

VI-129	S型弾性まくらぎ直結軌道に対する性能確認試験／(公財) 鉄道総合技術研究所 [正] 谷川 光・高橋 貴藏・桃谷 尚嗣・吉川 秀平
VI-130	プレバックド工法の設計基準強度検証／東京地下鉄株式会社 [正] 阿部 正和・飯塚 俊明・久保田 聡一・安藤 勝敏・青木 信頼
VI-131	貯雪空間を有する合成マクラギ直結分岐器に関する実験的検討／J R 東日本 上信越工事事務所 [正] 佐伯 和浩・小川 正彦・岡澤 和哉・北原 友介
VI-132	ロングチューブ注入口の処理に使用する常温塗布型保護材の性能評価／東亜道路工業 [正] 田端 勇人・山本 幸亮・片桐 聖太
VI-133	バラスト撤去量低減型工事構造物に関する挙動解析／東日本旅客鉄道 [正] 山本 達也・小林 薫・後藤 貴士・加藤 格
VI-134	免震構造上の軌道構造の概要について／東京地下鉄株式会社 [正] 磯崎 光・佐藤 大祐・善本 秀一
VI-135	橋上ロングレールが長スパン橋梁の挙動に及ぼす影響／公益財団法人 鉄道総合技術研究所 [正] 濱上 洋平・小林 裕介・網谷 岳夫・成嶋 健一・勝山 真規
VI-136	人道橋やホーム桁の振動使用性に対する振動測定と照査方法に関する検討／J R 東日本 構造技術センター [正] 黒田 智也・山田 正人

平成29年度9月11日 (月) VI-3会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2303教室)

■9:00～10:20 山岳トンネル(1) / 座長: 石田 滋樹

VI-137	海水条件下での溶液型グラウト特性データの取得 (その1) -研究の概要- / 日本原子力研究開発機構 [正] 榎永 幸介・佐藤 稔紀・沖原 光信・辻 正邦・中島 均
VI-138	海水条件下での溶液型グラウト特性データの取得 (その2) -海外の地層処分のためのグラウト技術に関する最新動向- / 清水建設株式会社 [正] 辻 正邦・沖原 光信・中島 均・佐藤 稔紀・青柳 和乎
VI-139	海水条件下での溶液型グラウト特性データの取得 (その3) -基本物性試験- / 清水建設 [正] 中島 均・齋藤 亮・辻 正邦・佐藤 稔紀・榎永 幸介
VI-140	山岳トンネル工事における坑内無線通信を利用した情報管理 / 前田建設工業 [正] 田中 ひかる・森 英治
VI-141	山岳トンネルにおける高性能大容量吹付けコンクリートシステムの開発 / 安藤・間 [正] 稲田 匠吾・串橋 巧・嵯峨 豊・横内 静二
VI-142	山岳トンネル工事における週休2日制への取り組み事例 / 株式会社 大林組 [正] 東憲太郎・加藤 隆雄・黒川 尚義
VI-143	脆弱地山でのロックボルトの定着力向上対策について / 株式会社大林組 [正] 岡崎 雄一・木梨 秀雄・伊藤 哲・藤岡 大輔
VI-144	吹付けコンクリートの練上がり温度を自動制御するパッチャープラントの現場検証 / 飛鳥建設 [正] 松田 浩朗・筒井 隆規・平間 昭信・熊谷 幸樹・滝波 真澄

■10:40～12:00 山岳トンネル(2) / 座長: 日下 敦

VI-145	環境温度に起因する中流動コンクリートの性状変化に関する一考察 / 戸田建設株式会社 [正] 土師 康一・新谷 岳・澤村 淳美・田中 徹
VI-146	打込み直前流動化中流動覆工コンクリート性状 / 清水建設 土木技術本部 地下空間統括部 [正] 谷村 浩輔・橋本 太・山本 将
VI-147	実施工における覆工用高流動コンクリートの適用実績 / 鹿児島建設株式会社 [正] 松本 修治・佐藤 崇洋・橋本 学・手塚 康成・青柳 隆浩
VI-148	覆工コンクリートにおける繊維混入率の検討事例 / 大林組 [正] 鈴木 成・森川 義博・後藤 隆之・桜井 邦昭・西野 俊倫
VI-149	過大な乾燥収縮を生じる砂岩砕石を用いた覆工コンクリートの乾燥収縮率低減対策に関する試験考察 / 西松建設 [正] 椎名 貴快・佐藤 幸三
VI-150	高品質フライアッシュを混入したトンネル覆工コンクリートの施工について / (株) 熊谷組 [正] 福田 博光・日高 正明・古屋 秀史・青木 宏一
VI-151	山岳トンネル防水シートの自己治癒機能の開発 (2) / 金沢工業大学 [学] 大森 成将・宇野 洋志城・木村 定雄
VI-152	吹付け仕上り面平滑化のためのロックボルト頭部処理に関する一試行 / 飛鳥建設 [正] 熊谷 幸樹・筒井 隆規・渡邊 博・河西 哲夫

■15:20～16:40 山岳トンネル(3) / 座長: 安井 成豊

VI-153	中流動覆工コンクリートの打込み締固め方法 / 清水建設関西支店川辺第一トンネル作業所 [正] 山本 将・信永 博文・木村 厚之
VI-154	型枠に設置したセンサによる覆工コンクリートの充填状況および締固め状況の把握に関する実験 / 日本国土開発 [正] 佐原 晴也・津久井 寛・小笠原 一基・山本 秀之・武田 祐二
VI-155	センサに設置したセンサによる覆工コンクリートの施工・品質管理の見える化の検討 / 日本国土開発 [正] 細井 泰行・江頭 勝吾・武田 祐二・津久井 寛・小笠原 一基
VI-156	照度センサを用いた覆工コンクリートの打設高さ管理システムの開発 / 飛鳥建設 [正] 滝波 真澄・筒井 隆規・熊谷 幸樹・松田 浩朗・中平 憲文
VI-157	覆工コンクリートのラップ部の充てんについて / 安藤ハザマ [正] 小野里 みどり・小池 悟・多宝 徹・坂本 守
VI-158	吹上げ方式により打設する覆工コンクリートの流動および充てん状況について / 安藤・間 [正] 小池 悟・小野里 みどり・多宝 徹・齋藤 淳
VI-159	覆工コンクリートの天端部における打重々箇所の表面近傍の品質 / 株式会社奥村組 [正] 小野 緑・齋藤 隆弘・岩波 光保
VI-160	寒冷地における覆工コンクリートの高耐久化に向けた取組み / 大林組 [正] 佐々木 大輝・蒲 雅志・永久 和正・柏原 宏輔

■17:00～18:20 山岳トンネル(4) / 座長: 海瀬 忍

VI-161	インバート施工区間の覆工コンクリートへの部分パイプクーリング適用効果 / 安藤ハザマ [正] 栗原 浩彦・三沢 良太・白岩 誠史・土屋 徹・田所 和人
VI-162	部分パイプクーリング工法と膨張コンクリートによるひび割れ抑制効果の比較 / 安藤ハザマ [正] 白岩 誠史・栗原 浩彦・三沢 良太・土屋 徹
VI-163	非排水構造の道路トンネルにおける覆工コンクリート高密度配筋部の施工 / 大成建設 [正] 近藤 正隆・梁 俊・岡 浩一・藤本 昭弘・南場 憲一郎
VI-164	覆工型枠の脱型に伴う覆工コンクリートの力学的挙動に関する考察 / 国立研究開発法人土木研究所 [正] 吉岡 知哉・砂金 伸治・森本 智・日下 敦
VI-165	覆工コンクリートにおける品質向上と高速施工の取組みおよび施工実績 / 鹿児島建設 [正] 月崎 良一・新岡 尚幸・竹市 篤史・佐藤 崇洋・西岡 和則
VI-166	覆工コンクリートにおける品質および耐久性向上への効果検証について / 鹿児島建設 (株) 技術研究所土木材料グループ [正] 佐藤 崇洋・新岡 尚幸・竹市 篤史・橋本 基・手塚 康成
VI-167	新型テレスコピックセントル工法および塗布型の水分分散抑制剤による養生の効果 - 高松自動車道大坂トンネル北工事 - / 鹿児島建設株式会社 [正] 石井 利治・松本 修治・橋本 学・松垣 和明・手塚 康成
VI-168	A I と打音法を組み合わせた覆工コンクリート打設後の養生管理方法の検討 / 佐藤工業株式会社 [正] 京免 継彦・菊田 遥子・歌川 紀之・須佐見 朱加・黒田 千歳

平成29年度9月12日 (火) VI-3会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2303教室)

■9:00～10:20 山岳トンネル(5) / 座長: 青柳 隆浩

VI-169	地すべりが懸念される地山における坑口設計 / 西松建設株式会社 [正] 鈴木 健・福山 新二・寺西 淳次
VI-170	斜面斜交型坑口部の施工について / 清水建設 (株) [正] 藤田 知大・井口 常幸
VI-171	大断面トンネルにおける坑口部の脆弱地山対策について / 大林組 [正] 国島 広弥・蒲 雅志・平川 泰之・柏原 宏輔
VI-172	低土被り未固結地山におけるトンネルの施工 / 株式会社鴻池組 土木技術部 [正] 若林 宏彰・酒井 康至・寺本 雅昭・宇田 隆彦
VI-173	市街地における既設トンネル近接施工の実績 / 西松建設株式会社 [正] 竹村 いずみ・岡田 弘・大谷 達彦
VI-174	国道直下の低土被り脆弱地山のトンネル掘削における早期閉合の施工事例 / (株) 竹中土木大阪本店技術設計部 [正] 鶴窪 誠司・市川 晃央・西尾 泰三・木山一成・高西 正人
VI-175	斜面斜交型坑口における斜め支保工を適用したトンネルの貫通方法について / 西松建設 [正] 原島 大・柳沢 俊一・河原 博・諏訪 至

■10:40～12:00 山岳トンネル(6) / 座長: 土門 剛

VI-176	大土被り区間の脆弱泥岩地山部における二重支保工の施工報告について / 中日本高速道路株式会社 南アルプス工事事務所 [正] 菅 浩亮・星野 実・吉野 兼央・浦橋 伴仁
VI-177	軟質な蛇紋岩を含む混在岩地山における調査・設計・計測事例 / 鹿児島建設 [正] 池田 康・赤石 広秋・西川 幸一・宮崎 保幸・村上 浩次
VI-178	ロックボルト削孔層層による蛇紋岩を含む不均質地山の評価 / 鹿児島建設 [正] 金本 凌・赤石 広秋・西川 幸一・福田 博之・小泉 悠
VI-179	付加地地山を貫く長大トンネルにおける地質リスクマネジメント / 鹿児島建設 [正] 小泉 悠・赤石 広秋・西川 幸一・福田 博之・川野 広道
VI-180	泥滓化しやすい凝灰岩質地山におけるトンネルの施工 / 鴻池組 土木技術部 [正] 後藤 宇・森谷 仁・池尻 大介・澤田 信行・上原 隆三
VI-181	山岳トンネルにおける熱水変質起源による塑性地山の変状事例 / 安藤ハザマ 土木事業本部 [正] 鶴田 亮介・山本 浩之・石田 良二・上間 綾乃
VI-182	坑口部地すべり対策によるトンネル掘削 / 前田建設工業 (株) 関西支店 [正] 中山 泰起・峰 潔毅・金子 和己・羽根田 隆
VI-183	強風化地山の坑口区間における沈下抑制対策 / 東急建設 [正] 村田 和哉・満尾 淳・安野 雅志

平成29年度9月13日 (水) VI-3会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2303教室)

■9:00～10:20 山岳トンネル(7) / 座長: 古賀 大陸

VI-184	レール方式による小断面 NATM の合理化施工 / 熊谷組北陸支店 [正] 用害 靖己・松本 壮太郎
VI-185	長大トンネルにおける急速施工の取組みについて / 鹿児島建設 (株) [正] 竹市 篤史・新岡 尚幸・佐藤 崇洋・橋本 基・中嶋 翔平
VI-186	NATM の大断面山岳トンネル掘削で月進270m達成 / 鹿児島建設 [正] 橋本 基・新岡 尚幸・竹市 篤史・佐藤 崇洋・中嶋 翔平
VI-187	長大トンネル C I 区間における余堀低減への取り組み / 鹿児島建設 [正] 中嶋 翔平・新岡 尚幸・竹市 篤史・佐藤 崇洋・橋本 基
VI-188	山岳トンネルにおける高速ずり搬出システムの開発 / 西松建設 [正] 三井 善孝・山下 雅之・富永 秀之・中平 和志
VI-189	環境と品質に配慮した新名神高速道路原萩谷トンネル東工事の施工実績 / 前田建設工業 (株) [正] 古澤 剛・小柳 公治・新井 直樹・大久保 弘
VI-190	山岳トンネル掘削に干渉する廃坑道対策 / 株式会社竹中土木 大阪本店 [正] 藤田 豊彦・山下 裕司・市川 晃央・鴻野 宏志・増田 寛四郎
VI-191	トンネル掘削に伴う近接送電線鉄塔への影響について - 一般国道106号宮古西道路 (仮称) 田鎖トンネル築造ほか工事 / 三井住友建設 (株) 東北支店田鎖トンネル作業所 [正] 山本 恭平・金谷 薫幸・鷹觜 智司・鎌田 修司

■10:40～12:00 山岳トンネル(8) / 座長: 西浦 秀明

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-192	供用中トンネルにおける分岐部の施工／前田建設工業株式会社〔正〕宮内 俊彦・能登 喜幸・平森 誠・楢山 孝司
VI-193	小断面水路トンネルからの超大断面空洞地中拡幅／ゼネコン〔正〕松尾 孝之・肥後 桂介・北山 篤
VI-194	硬岩の避難連絡坑拡幅工における制岩工法の採用／鴻池組〔正〕小林 亘・寺西 克彦・宇田 隆彦・寺西 雅紀
VI-195	多段式非火薬岩盤破砕剤を併用した硬質岩盤のトンネル掘削とその効果／鉄建建設〔正〕舟橋 孝仁・蒲川 信行・田辺 洋一・萩原 一隆・中尾 慎一
VI-196	トンネル硬岩部の機械掘削における先行削削の効果に関する一考察／大成建設〔正〕山田 貴久・羽生 剛・松田 光司・仙波 慧多・野村 悠太
VI-197	鉄道トンネル側壁におけるハイスベックネイリング工法の適用／J R東海〔正〕中島 啓・田川 謙一・山本 彰・稲川 雄宜・岸 尚喜
VI-198	既設覆工の補強工設計事例ー常磐共同火力勿来発電所第1送水トンネル補強工事ー／鹿島建設(株)〔正〕秋山 崇裕・菅波 敏春・岡本 二郎・玉村 公児
VI-199	埋設型枠工法による導水路トンネル構築／鹿島建設〔正〕木原 大樹・山本 明雄・安永 豊彦・柿本 啓太郎・渡邊 有寿

■15:20～16:40 山岳トンネル(9) / 座長:吉川 直孝

VI-200	トンネル切羽観察(簡理) A I 自動評価のための切羽面3次元単純モデル化手法／佐藤工業株式会社〔正〕菊田 遼子・京免 維彦・瀬谷 正巳・黒田 千歳・藤川 保
VI-201	トンネル切羽観察(風化変質)の A I (自己組織化マップ: S O M) による自動評価の試み／佐藤工業土木事業本部技術部〔正〕瀬谷 正巳・黒田 千歳・歌川 紀之・島田 拓夢・安永 守利
VI-202	切羽観察項目と補助工法採用率の相関性に関する考察／山口大学大学院創成科学研究科〔学〕田中 惇一・進士 正人・森本 真吾
VI-203	簡易なトンネル切羽前方変位計測手法の開発／安藤ハザマ〔正〕稲葉 秀雄
VI-204	天端先行変位計によるトンネル掘削の先行変位に対する一考察／株式会社大林組〔正〕木野村 有亮・山崎 哲也・井上 猛・桑高 崇・林 圭一
VI-205	T B M避難坑拡幅掘削切羽の安定性／清水建設関西支店川辺第一トンネル作業所〔正〕木村 厚之・信永 博文・楠本 太
VI-206	全断面工法爆破掘削のⅡ期線トンネルへの適用性／西日本高速道路関西支社和歌山工事事務所〔正〕山中 慎也・信永 博文・小林 康範・木村 厚之
VI-207	Ⅱ期線トンネル全断面爆破掘削が供用Ⅰ期線トンネルに及ぼす影響／清水建設土木技術本部地下空間統括部〔正〕福田 毅・信永 博文・木村 厚之

平成29年度9月11日(月) VI-4会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2304教室)

■9:00～10:20 山岳トンネル(10) / 座長:嶋本 敬介

VI-208	ドリルジャンボの削削データを使用した3次元地山評価システムの開発／西松建設〔正〕山下 雅之・三井 善孝・塚田 純一
VI-209	発破のための削削データを用いた切羽面の前方地山予測／山口大学大学院創成科学研究科〔学〕宮仲 美玖・河邊 信之・進士 正人・森本 真吾
VI-210	D R i スコープによるトンネル切羽前方地山調査の適用／戸田建設〔正〕法橋 亮・関根 一郎・石垣 和明・奥村 正樹
VI-211	凝灰岩地山トンネルにおけるノコンロ削削切羽前方探査技術と支保選定／(株)大林組〔正〕渡辺 淳・宮沢 一雄・金田 和男・平本 竜也・木梨 秀雄
VI-212	双葉断層を含む破砕帯推定区間での切羽前方探査による地山性状把握／清水建設株式会社〔正〕アドザム アズマン・小島 英郷・安藤 拓・秦 健二・石橋 均
VI-213	掘削時の発破を起振とした地山弾性波速度モデルの構築と施工との対比／熊谷組〔正〕中本 大悟・石濱 茂崇・青木 宏一・小林 寛・若林 功起
VI-214	I C レコーダーを利用した簡易弾性波探査による支保パターンの妥当性の検証／安藤ハザマ〔正〕山本 浩之・中谷 匡志・金田 仁志・石田 良一・戸田 有紀
VI-215	長距離高精度弾性波測定システムにおける発振源としての超磁歪素子の特性評価／西松建設株式会社〔正〕石山 宏二・吉野 修・佐ノ木 哲・引間 亮一・平野 享

■10:40～12:00 山岳トンネル(11) / 座長:磯谷 篤実

VI-216	多量湧水が想定されるトンネルでの地下水前方探査システムの開発／株式会社大林組〔正〕伊藤 哲・木梨 秀雄・中間 健一
VI-217	短尺ボーリング水圧計測システムの開発と現場適用試験／鹿島建設〔正〕小泉 恵介・岩野 圭太・岡田 侑子・一彦・福住 幸雄
VI-218	トンネルの高湧水区間におけるディーブウェルによる地下水位低下工法の適用／鹿島建設〔正〕野中 隼人・中嶋 誠門・瀬尾 昭治・川端 淳一・秀野 俊英
VI-219	中尺ボーリング先端区間の湧水圧モニタリング技術／鹿島建設〔正〕滝 英明・志水 俊仁・升元 一彦・岩野 圭太・岡田 侑子
VI-220	逆転層でのT D E M法探査の適用事例／戸田建設株式会社〔正〕原 敏昭・西牧 均・香村 一夫・斎藤 章
VI-221	F D E M探査を用いた切羽前方探査による最適支保パターンの選定／三井住友建設株式会社〔正〕仲 哲路・山田 文孝・半田 久雄・長岡 浩康・赤石 広秋
VI-222	拡張カルマンフィルタを用いたトンネル切羽前方の三次元電気探査／新潟大学自然科学研究科〔学〕佐々木 文・阿部 和久・椎谷 成孝・今村 大介・紅露 一寛
VI-223	ボストグラウチングによる山岳トンネルの減水対策工とトンネル挙動について／熊谷組〔正〕中出 剛・木佐貫 淳治・鈴木 雅文・手塚 仁・古田島 信義

■15:20～16:40 山岳トンネル(12) / 座長:増田 潔

VI-224	再生ドラム缶を活用したトンネル発破超低周波音低減装置／フジタ〔正〕阿部 将幸・野間 達也・小谷 朋央貴・漆戸 幸雄
VI-225	膜振動型の吸音特性を利用したトンネル発破低周波音低減装置の開発 その1 吸音原理と吸音率測定／竹中土木 技術・生産本部〔正〕大村 啓介・田邊 康太・市川 晃央・鈴木 和憲・小柳 慎一郎
VI-226	膜振動型の吸音特性を利用したトンネル発破低周波音低減装置の開発 その2 現場における実証試験結果／竹中土木〔正〕田邊 康太・大村 啓介・市川 晃央・鈴木 和憲・小柳 慎一郎
VI-227	トンネル発破超低周波音消音装置の消音効果に関する検討／飛島建設株式会社〔正〕岩根 康之・小林 真人・川澄 卓也・関根 秀久・安田 洋介
VI-228	硬質地山におけるトンネル発破消音器を用いた環境配慮施工事例／大林組〔正〕八木 隆之・大和田 正樹・谷口 信博・本田 泰大
VI-229	発破振動速度の遠隔測定システムN C V I Bの活用例／鹿島建設〔正〕扇 裕次・竹井 修・手塚 康成・上田 翔
VI-230	高精度電子雷管を用いたゴルフ場直下のトンネル掘削についてー新名神高速道路東睦野トンネル工事ー／西日本高速道路株式会社〔正〕勘定 茂・藤澤 顕・横山 哲哉
■17:00～18:20 開削トンネル / 座長:土屋 光弘	
VI-231	頂版・側壁をハーフプレキャストとしたカルバート隅角部の合理化構造の実験／清水建設株式会社〔正〕吉村 友李・荒木 尚幸・土屋 雅徳・竹内 大輔・中谷 郁夫
VI-232	接合部を補強したR Cカルバート隅角部の交番載荷実験／ジオスター〔正〕小山 直人・荒木 尚幸・竹内 大輔・中谷 郁夫
VI-233	鋼材重ね合せ機構によるハーフプレキャスト隅角部接合構造のF E M解析／清水建設〔正〕林 大輔・吉武 謙二・竹内 大輔・中谷 郁夫・小山 直人
VI-234	高水圧下でのアンカーと大規模掘削の施工実績／鹿島建設〔正〕柄沢 篤志・奥本 隆之・安田 学・塩見 尚潔
VI-235	供用中の高速道路における換気用開口の養生蓋設置／清水建設株式会社〔正〕溝口 達也・大塩 隆・赤松 諒亮・永峯 崇二
VI-236	プレキャスト門型カルバートの適用による工程短縮／鹿島建設〔正〕迫田 剣治・坂梨 利男・渡邊 洋介・安田 学・藤井 徹
VI-237	既設構造物上に設置する親杭・中間杭の施工／清水建設株式会社〔正〕宇田 光伸・大塩 隆・赤松 諒亮・永峯 崇二

平成29年度9月12日(火) VI-4会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2304教室)

■9:00～10:20 地下構造物(1) / 座長:古荘 伸一郎

VI-238	ボンブ所基礎の底版コンクリートへの高流動コンクリートの適用(1)ーフレッシュ性状に関する試験報告ー／清水建設株式会社〔正〕吉田 匠吾・野村 朋宏・頃安 研吾・関 浩太郎
VI-239	ボンブ所基礎の底版コンクリートへの高流動コンクリートの適用(その2)ー構造物強度の確認ー／清水建設株式会社〔正〕頃安 研吾・吉田 匠吾・野村 朋宏・関 浩太郎
VI-240	矩形深礎を用いた既設土留め壁撤去工法の選定と施工実績／鹿島建設〔正〕古賀 新太郎・志村 敦・渡辺 幹広・吉田 潔・羽富 公彦
VI-241	玉石、砂礫地盤における地盤切削J E S工法のガイドバイブ置換え敷設／鉄建建設〔正〕中村 征史・村田 浩平・石田 将貴・瀬谷 藤夫
VI-242	玉石混じり地盤における地盤切削J E S工法による線路下横断工事の施工／東日本旅客鉄道株式会社〔正〕石田 将貴・吉田 直人・西村 知晃・村田 浩平
VI-243	箱形รูป推進用エアバック式土留めの開発／奥村組〔正〕亀井 寛功・佐藤 大起・川崎 英介・有川 健
VI-244	鉄道構造物構築におけるハーモニカ工法の施工実績ーハーモニカ部(非開削)と開削部の切り開きー一体化についてー／大成建設〔正〕石川 陽介・上坂 龍平・倉澤 敦
VI-245	地下水によるリチャージ設備へのスケール付着抑制対策／鉄建建設〔正〕柳 博文・柳 博文・栗栖 基彰・小池 敏雄・渡辺 謙二

■10:40～12:00 地下構造物(2) / 座長:寺田 倫康

VI-246	ケーソン作業室内残土量可視化に向けたレーザーセンサ性能実験／大成建設〔正〕木下 勇人・森田 泰司・綿村 忍・濱田 晋吉
VI-247	ケーソン作業室内の掘り残し土量可視化技術の開発／大成建設(株)横浜支店〔正〕香川 純成・森田 泰司・草柳 太郎・金子 淳・漆畑 毅
VI-248	圧入ケーソン工事における硬質な洗掃層での圧入困難時の補助工法施工事例／株式会社大林組〔正〕宮田 健治朗・本間 英貴・久保寺 家光・松浦 崇二
VI-249	大型ニューマチックケーソンにおける仮掘き去方法の改善事例／大林組〔正〕原 良輔・武見 敏晴・小崎 敏之・吉野 彰
VI-250	ニューマチックケーソン施工時の影響解析に対する粒子法の適用性／清水建設〔正〕小林 聖二・遠藤 和雄・小野田 元・桐山 貴俊
VI-251	蒸気圧破砕薬剤用電子段差着火具の開発と深礎掘削への応用／日本工機〔正〕村田 健司・川野 誠・林 知弘・鹿住 孝
VI-252	仮設一本設兼用合成地下壁の床版接合部の性能確認実験その1／J F E スチール〔正〕恩田 邦彦・古荘 伸一郎・西口 正仁・武田 篤史・河野 謙治
VI-253	仮設一本設兼用合成地下壁の床版接合部の性能確認実験その2／大林組〔正〕黄 再弘・伊藤 克也・恩田 邦彦・西口 正仁

平成29年度9月13日(水) VI-4会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2304教室)

■9:00～10:20 地下構造物(3)、河川構造物 / 座長:緒方 明彦

VI-254	鉄道駅直下のR & C工法による世界最大断面の函体けん引工事／清水建設〔正〕森本 大介・岸田 正博・藤原 英司・藤田 淳
--------	--

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-255	銀座線新橋駅改良工事における鉄構框切断に伴う補強計画／東京地下鉄〔正〕城石 尚明・福田 隆二・川岸 康人・立石 健二・石田 晴英	VI-287	砂質地盤、低土被りにおける泥土圧シールド掘進実績／西松建設(株)〔正〕佐々木 栞
VI-256	日比谷線茅場町駅改良土木工事における既設構造側壁撤去時の計測結果 その2／東京地下鉄株式会社〔正〕荻野 竹敏・橋口 弘明・町田 裕之・半田 陽介・今泉 裕	VI-288	小断面2次覆工一体型RCセグメントでの長距離施工について／西松建設〔正〕浅野 貴弘
VI-257	低空頭での土留め壁打設と地中圧幅掘削の施工実績(切り開きその4)／鹿島建設株式会社〔正〕谷澤 史剛・吉田 潔・渡辺 幹広・戸川 敬・竹内 業史	VI-289	西名古屋火力発電所リフレッシュ工事 放水路トンネル工事報告ー直接切削壁(NOMS T)の発進・到達実績ー／鹿島建設株式会社〔正〕石原 泰幸・蔵之内 英二・亀井 達司・米倉 雄一・江崎 智和
VI-258	屋内作業が可能な地盤改良マシンの小型化改良／大成建設〔正〕広野 彩・沖 慎一郎・橋本 利明	VI-290	高水圧下での泥水式岩盤シールド工法における掘削方法の工夫について／大成建設〔正〕関 康太・稲積 教彦・国居 史武
VI-259	旧北上川河口部改修事業における近接施工対策の取り組み／川崎地質株式会社北日本支社〔正〕太田 史朗・高田 浩徳・川村 健弘・清水川 泉・大坪 智博	VI-291	急曲線、超近接施工を伴うデュアルシールド工法最大径の初施工報告／東急建設〔正〕高松 伸行・皆川 昌浩・田中 悠一・松下 悟・鈔持 芳蔵
VI-260	鬼怒川堤防本復旧工事の施工実績と現場運営／鹿島建設〔正〕下沖 優介・横坂 利雄・上田 哲也・藤崎 勝利・阿部 勇児	VI-292	横浜北線馬場出入口工事におけるCランプシールドの掘進報告／清水建設〔正〕武本 怜真・内海 和仁・栗林 伶二・岩居 博文・田邊 健太
VI-261	周辺河川の水位変動の影響を強く受ける河川近傍での地下水低下対策について／奥村組〔正〕佐藤 典央・小林 俊彦・森 裕之・中村 方紀・齋藤 茂則	■15:20～16:40 シールドトンネル(3) / 座長: 潮川 幸司	

■10:40～12:00 山留め / 座長:近江 健吾

VI-262	大規模掘削工事における土丹層の土質性状を踏まえた土留構造の変更について／東急建設株式会社 首都圏土木支店〔正〕中山 亘・森 正宏・小野 浩之・吉村 幸丞・井上 貴文
VI-263	地層間に巨礫を含む地盤における掘削土留工の設計について／鉄建建設〔正〕山本 淳・吉田 直人・藤岡 太造・市川 智久
VI-264	地層間に巨礫を含む地盤における薬液注入工の設計・施工／東日本旅客鉄道(株)〔正〕吉田 直人・高見澤 拓哉・市川 智久・山内 真也
VI-265	腹起しの荷荷試験と設計的検討(その1:トンポ火打ちの場合)／大林組〔正〕高本 寛之・高橋 正登・平尾 淳一・北出 啓一郎・松山 積夫
VI-266	腹起しの荷荷試験と設計的検討(その2:45°火打ち,60°火打ちの場合)／ジェコス〔正〕村山 正輝・松山 積夫・高橋 正登・平尾 淳一・山下
VI-267	地下調整池工事における仮設計画の改善事例／株式会社大林組〔正〕桑原 政仁・巨知 琢也・下田 剛史・丸田 雅晴
VI-268	偏側圧が作用する非対称土留めの挙動について／熊谷組〔正〕赤石 圭治・鈴木 順次・田中 秀一・山口 哲司
VI-269	ソイルセメント地下連続壁に地盤改良体を考慮した設計を行った場合の効果について／加藤建設〔正〕徳山 悦子・菅野 航太・伊藤 浩邦・大河内 保彦

■15:20～16:40 設計技術 / 座長:森田 篤

VI-270	高速道路橋における維持管理の容易さに配慮したコーディネートデザインの取組み／西日本高速道路株式会社〔正〕宮田 弘和・多葉井 清司・益田 貴幸・碓井 雄大・日高 大希
VI-271	風荷重が増幅する地形におけるアレイ架台基礎設計事例／大林組〔正〕三浦 国春・山江 真也・玉井 礼子・柴川 大輔・岡崎 清徳
VI-272	破碎帯を通過する超大断面水路トンネル側壁補強工の設計と施工／大林・飛鳥特定建設工事共同企業体〔正〕五十嵐 正剛・井上 達裕・籠谷 建太郎・村上 正一・秋好 賢治
VI-273	大型石炭サイロの合理化に関する考察／中国電力(株)〔正〕笠井 洋行・高田 英明
VI-274	3次元FEM解析を用いた大型ケーソン構造物の設計合理化／大林組〔正〕高橋 敏樹・齋藤 隆
VI-275	建築用タワークレーンのマスト接合部の強度に関する研究その2マスト結合ボルトの曲げ応力／労働安全衛生総合研究所〔正〕高梨 成次・大嶋 勝利・高橋 弘樹
VI-276	耐震性能向上を目的とした仮橋脚構造の検討／東日本旅客鉄道株式会社〔正〕山下 洋平・小林 薫

平成29年度9月11日(月) VI-5会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2305教室)

■9:00～10:20 シールドトンネル(1) / 座長:河本 武士

VI-277	RCセグメント耐火性能確認(その1:耐火実験結果)／西松建設〔正〕野本 雅昭・椎名 貴快
VI-278	RCセグメント耐火性能確認(その2:設計への反映)／西松建設(株)〔正〕山本 達也・村上 初央・坪井 広美
VI-279	高水圧下の凍結地盤内に注入可能な高性能裏込め注入材の開発 その1ー 配合試験結果報告 ー／戸田建設〔正〕中山 卓人・請川 誠・瀧川 信二
VI-280	高水圧下の凍結地盤内に注入可能な高性能裏込め注入材の開発 その2ー 実機試験結果報告 ー／戸田建設〔正〕小林 修・和田 洋一・平原 直樹
VI-281	4面に鋼殻を有する合成セグメントに関する基礎的研究その2／パシフィックコンサルタンツ株式会社〔正〕清水 幸範・水上 博之・藤木 育雄・斉藤 正幸・大関 宗孝
VI-282	地盤の礫の特性および礫含有率がカッタービット摩耗量に及ぼす影響に関する研究／(株)大林組〔正〕星野 智紀・田中 善広・野口 宏治・笹岡 孝司・島田 英樹
VI-283	高耐久性カッタービットの開発(その3)ー耐摩耗性に着目した「スタミナビット」の性能に関する検証ー／奥村組〔正〕川嶋 英介・木下 茂樹・木村 隼平・根来 将司
VI-284	ディスクローラーカッター交換装置の開発／鹿島建設株式会社 機械部〔正〕船迫 俊雄・福田 昌弘・沼宮内 克己

■10:40～12:00 シールドトンネル(2) / 座長:木村 晃

VI-285	支障する汚水幹線をシールドで直接切削してトンネルを施工／鉄道建設・運輸施設整備支援機構〔正〕松尾 知明・田中 淳寛・下牧 尚平・大森 裕一
VI-286	粒子法を用いた泥土圧シールド工法のスクリーコンベヤーにおける土砂流動解析／安藤ハザマ〔正〕粥川 幸司・名倉 浩・西村 毅・小山 幸則

■15:20～16:40 シールドトンネル(3) / 座長:粥川 幸司

VI-293	長距離大口径掘進工法(396m,φ2,800mm)の推力低減対策に関する考察／佐藤工業〔正〕小野寺 正人・市原 和彦・山田 和也・幸正 昂大
VI-294	横浜北線馬場ランプシールド内装における床版構築の省力化の施工事例／清水建設株式会社〔正〕高橋 さや・栗林 伶二・武藤 圭祐・松下 悟・銀持 芳蔵
VI-295	大断面道路トンネルの低土被り区間覆工検討概要／大成建設(株)本社土木設計部〔正〕永塚 優希・濱島 圭佑・松下 真哉・川島 広志・織田 隆志
VI-296	大断面道路トンネルの低土被り区間に適用したモルタル中詰鋼製セグメント構造概要／大成建設東京支店外環大泉トンネル作業所〔正〕織田 隆志・高橋 亨・近藤 基博・下窪 健二・谷口 敦
VI-297	想定外の玉石層出現への対処実績／西松建設(株)関東土木支店〔正〕栗田 武弘
VI-298	巨礫混じりの砂礫層における長距離シールド施工／奥村組〔正〕秦 裕彰・吉田 英典・倉田 和彦・松田 太士
VI-299	大深度におけるH&Vシールド工法の発進と地中分岐の施工について／前田建設工業〔正〕吉田 靖史・大熊 稔生
VI-300	超大シールドマシンの組立実績／鹿島建設〔正〕齊藤 祐輔・佐藤 卓哉・高橋 公城・吉村 隼人

■17:00～18:20 シールドトンネル(4) / 座長:中谷 武彦

VI-301	回転式レーザー自動測定システムによる併設影響計測実績／鹿島建設株式会社〔正〕牧野 由依・渡辺 真介・松川 直史・紀伊 吉隆・橋村 義人
VI-302	近接施工時における非接触多点計測装置を用いたセグメント断面力算出に関する一考察／計測技術株式会社〔正〕石下 和雅・渡辺 真介・松川 直史・紀伊 吉隆・橋村 義人
VI-303	シールドトンネル掘削時の振動低減実績／鹿島建設〔正〕佐藤 一成・紀伊 吉隆・岡本 道孝・渡辺 真介・松川 直史
VI-304	気泡シールド工法に用いる新型起泡剤の開発／鹿島建設〔正〕生川 寛之・吉迫 和生・渡辺 真介・瀧川 信二・紀伊 吉隆
VI-305	新型ワンピース継手の鋼製セグメントへの適用／鹿島建設〔正〕近藤 資・渡辺 真介・紀伊 吉隆・松川 直史・小坂 琢郎
VI-306	大断面シールド往路掘進知見を活かした復路掘進実績／鹿島建設株式会社〔正〕紀伊 吉隆・渡辺 真介・松川 直史
VI-307	泥土圧シールドにおける土砂運搬ベルコンの粉塵対策／鹿島建設技術研究所〔正〕高木 賢二・紀伊 吉隆・渡辺 真介・末吉 隆信・松川 直史

平成29年度9月12日(火) VI-5会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2305教室)

■9:00～10:20 シールドトンネル(5) / 座長:西田 与志雄

VI-308	非開削の矩形断面地下通路工事における計測管理・新日比谷地下通路工事報告(その3)ー／東京地下鉄株式会社〔正〕橋口 弘明・川岸 康人・根本 早季・上木 康裕・工藤 耕一
VI-309	RーSWING工法と六面鋼殻合成セグメントを採用した地下連絡通路工事の実績・新日比谷地下通路工事報告(その4)／鹿島建設株式会社〔正〕工藤 耕一・橋口 弘明・根本 早季・盛岡 義郎・上木 泰裕
VI-310	矩形断面に設置した仮設中柱の撤去時の計画と実施ー新日比谷地下通路工事報告(その5)ー／鹿島建設株式会社〔正〕盛岡 義郎・大西 諒・橋口 弘明・根本 早季・衛藤 優
VI-311	高速道路ランプ部への矩形シールド工法の導入(その1:計画概要)／阪神高速道路株式会社〔正〕志村 敦・渡辺 真介・吉田 潔・渡辺 幹広・戸川 敬
VI-312	高速道路ランプ部への矩形シールド工法の導入(その2:掘進経過報告)／鹿島建設〔正〕真鍋 智・渡辺 幹広・馬目 広幸・渡辺 真介・松川 直史
VI-313	高速道路ランプ部の矩形シールドトンネルに適用するセグメントの設計／鹿島建設〔正〕牛垣 勝・福島 啓央・吉田 潔・渡辺 幹広・真鍋 智
VI-314	矩形シールド工事における新しい沈下抑止特殊充填材の施工実績／鹿島建設〔正〕吉迫 和生・渡辺 真介・瀧川 信二・宇野 貴・真鍋 智
VI-315	地下鉄営業線を離隔2.2mで下越した大断面シールドの掘進管理／大阪市交通局〔正〕島 拓造・萬木 昇・西木 大道・河田 利樹・東野 弘幸

■10:40～12:00 シールドトンネル(6) / 座長:中川 雅由

VI-316	チャンパー内土砂流動性可視化システム(その1)ー土砂粘度特性の確認実験ー／大林組〔正〕菅野 静・香川 敦・阿部 靖・木村 志照
VI-317	チャンパー内土砂流動性可視化システム(その2)ー現場適用結果ー／大林組〔正〕香川 敦・菅野 静・日高 基裕・河口 琢哉・吉本 和哲
VI-318	シールド切羽可視化システムの構築と実現場への適用(その3:ビットの応答加速度に関する実験的研究)／株式会社奥村組〔正〕木下 茂樹・松田 顕伍・犬飼 貴・今泉 和俊

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-319	泥土圧シールドにおけるチャンパー内泥土の塑性流動性可視化システムの改良／清水建設 [正] 安井 克豊・杉山 博一
VI-320	重要道路直下を横断する小土被り大断面シールドの施工ー東京外環自動車道 大和田工事Hランプシールドー／清水建設株式会社 [正] 中村 智史・大田 寛・宗像 慎也・菅沼 和好・鹿島 竜之介
VI-321	地下鉄営業線との近接施工におけるシールド施工管理の一事例／株式会社大林組 [正] 安藤 嵩久・服部 鋭啓・宮田 博幸・平田 美正
VI-322	大断面シールド (マシン外径1.3m) の小土被り掘進について／大成建設 [正] 田村 憲・金野 正一・小島 裕隆・石垣 博将
VI-323	シールド工事 (下水道工事) におけるSAR衛星による地表面沈下計測の精度確認／奥村組 [正] 宮田 岩住・村中 浩昭・五十嵐 善一・矢尾板 啓・石岡 義則

平成29年度9月13日 (水) VI-5会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2305教室)

■9:00～10:20 シールドトンネル(7) / 座長:安井 克豊

VI-324	坑内回収型上向きシールド工法の導入／大成建設株式会社 [正] 川口 雄大・太田 祥史・中井 久隆・島田 哲治
VI-325	天然高分子材料を用いた噴発防止剤の開発／株式会社大林組 [正] 木村 志照・三浦 俊彦・武田 厚・田中 善広・永井 文博
VI-326	高濃度のメタンガス含有地盤におけるシールド掘進対策について／鴻池組 [正] 桶川 宏司・安田 絢一・亀山 博通・平田 健
VI-327	防爆仕様によるデュアルシールド工法での長距離急曲線施工／前田建設工業株式会社 [正] 五十嵐 善行・佐々木 浩文
VI-328	泥水式シールド工事における効率的な泥水二次処理技術の開発／西松建設 [正] 田口 雅章
VI-329	消費電力を低減する二重カッター方式を採用したシールド機の模擬実験 (1)／大林組 [正] 山下 健司・守屋 洋一・日野 義嗣・福田 智之
VI-330	消費電力を低減する二重カッター方式を採用したシールド機の模擬実験 (2)／大林組 [正] 日野 義嗣・上田 潤・山下 健司・金 淨昊
VI-331	場所打ちライニング工法におけるゴム製テールシールの開発／大成建設株式会社 [正] 竹中 計行・高倉 克彦・福田 興士・荒木 崇裕

■10:40～12:00 シールドトンネル(8) / 座長:香川 敦

VI-332	シールドトンネルにおけるC I Mモデルの開発および一考察／熊谷組 [正] 河越 勝
VI-333	凍結工法によるシールドトンネルの拡張とC I Mによる施工管理の高度化／東急建設株式会社 [正] 堀 浩之・下村 義直・高松 伸行・田中 悠一
VI-334	シールド機動力学モデルによる急曲線部のシールドの挙動シミュレーション／長岡技術科学大学大学院 [学] 鈴木 貴大・田中 秀幸・池田 圭太・杉本 光隆
VI-335	都心部での非開削切上げ工法における施工時挙動再現に関する解析手法による差違について／第一工業大学 [学] 神野 佑大・岩波 基
VI-336	連続体モデルによるトンネル覆工挙動および周辺地盤変位に関する研究／長岡技術科学大学大学院 [学] 相馬 裕希・真鍋 晃一・PHAM ANH・杉本 光隆
VI-337	S E N Sによって構築されたトンネル周辺の地盤変位解析／長岡技術科学大学大学院 [学] 畑下 創紀・中田 早紀・杉本 光隆・玉井 達毅
VI-338	人工知能によるシールドマシン操作に関する予備的検討／清水建設 [正] 杉山 博一・和田 健介・中谷 武彦・大木 智明

■15:20～16:40 港湾海洋構造物・空港・建設環境 / 座長:濱地 克也

VI-339	プレミックス船工法による改良土の現場品質管理結果 (その1事前解泥と施工時の品質管理)／東亜建設工業 (株) 技術研究開発センター [正] 永留 健・田中 洋輔・廣田 修治・中川 克章・西川 正夫
VI-340	プレミックス船工法による改良土の現場品質管理結果 (その2製造時の改良土品質のばらつき)／東亜建設工業 (株) 技術研究開発センター [正] 木内 大介・永留 健・中川 克章・山田 和昌・上野 一彦
VI-341	透水性枠工法およびビニールシート養生を用いたコンクリート表面の品質の改善／東洋建設 [正] 菅 章雅・村本 哲二・森田 浩史・近藤 久雄・橋本 崇志
VI-342	常温硬化型の超高強度繊維補強コンクリートによる梁部材の補修方法に関する施工実験／大林組 [正] 桜井 邦昭・武田 篤史・佐合 靖樹・小澤 武史・平田 隆洋
VI-343	津波引波時に対する動力式護岸の安定性の検討／早稲田大学院 [学] 太田 海道

VI-344	日本の港湾設計・施工基準の国際展開に関するベトナムでの取り組み／国土交通省 国土技術政策総合研究所 [正] 中野 敏彦・宮田 正史・清宮 理・菊池 喜朗・岩波 光保
VI-345	特殊針葉樹皮改良材を活用した空港の防塵・防草対策／国土交通省関東地方整備局 [正] 野口 孝俊・小原 剛・石川 弘志・寺島 美保子
VI-346	プロペラ式湖水浄化装置によるアオコ抑制効果について／ゼニヤ海洋サービス [正] 川本 靖行・西田 秀紀・田村 精一・城野 清治・高橋 定雄

平成29年度9月11日 (月) VI-6会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2306教室)

■9:00～10:20 施工技術(1) / 座長:高橋 敏樹

VI-347	内面平滑型RCプレキャストブロックを用いたアーバンリング工法の施工実績ー石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事 (第3工区) 工事報告 (その13) ー／鹿島建設 [正] 阿部 聡・遠藤 勉・齋藤 寿秋・高柳 哲・濱田 良幸
VI-348	海底シールドトンネル工事における施工実績と位置検知システムの開発ー石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事 (第3工区) 工事報告 (その14) ー／北海道電力 [正] 畠田 大規・遠藤 勉・高柳 哲・阿部 聡
VI-349	シールドトンネル工事におけるC I Mの取り組み／鹿島建設 [正] 渡邊 和英・遠藤 勉・畠田 大規・高柳 哲・高橋 祐一

VI-350	シールド内からの到達位置探査工 - 石狩湾信仰発電所1号機新設工事のうち土木本工事 (第3工区) 工事報告 (その16) -／ケミカルグラウト株式会社 [正] 塩屋 祐太・齋藤 寿秋・畠田 大規・高柳 哲・渡邊 和英
VI-351	C O 2 凍結によるシールド到達防護ー石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事 (第3工区) 工事報告 (その17) ー／ケミカルグラウト [正] 相馬 啓・齋藤 寿秋・畠田 大規・高柳 哲・塩屋 祐太
VI-352	没水型放水路工事における鋼管矢板引抜工・洗掘防止工の施工実績ー石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事 (第3工区) 工事報告 (その18) ー／鹿島建設 [正] 岩前 伸幸・畠田 大規・飯田 和弘
VI-353	空洞充填における限定充填工法のコストダウン技術の開発／飛鳥建設 [正] 勝又 諒・杉浦 乾郎・坂本 昭夫
VI-354	空洞充填工法に用いる充填材の水中打設試験／飛鳥建設 [正] 宮沢 義博・杉浦 乾郎・坂本 昭夫

■10:40～12:00 施工技術(2) / 座長:梅村 勝

VI-355	多くの制約条件を克服した大規模土工の施工実績／鹿島建設 (株) [正] 松永 光司・堂本 聖司・江上 大規・堤 浩志・入田 圭
VI-356	神戸屑層で発生した浅い地すべりを押え盛土と大型かご枠で対策した施工事例／前田建設工業株式会社 [正] 西川 浩二・城山 晃一・伊藤 久継・遠藤 司・前原 直樹
VI-357	砂防えん堤工事の合理化施工実績／鹿島建設 [正] 上谷 泰高・服部 悦士・藤澤 理・東坂 昌輝・梯 誠
VI-358	打撃ランマ接地圧の転圧性能に対する効果／国立明石工業高等専門学校 [学] 嶋谷 宗太・江口 忠臣
VI-359	事前混合処理工法による移動式改良機を用いた液状化・土圧低減対策事例／日本国土開発 [正] 高垣 豊・栗林 則夫・酒井 智光・四宮 圭三
VI-360	腐植土を含む軟弱地盤の沈下対策工の設計施工実績／鹿島建設 (株) [正] 小山田 邦弘・池元 康彦・村上 武志・中澤 達則・菊池 亮太
VI-361	放射性物質で汚染された港内海底土を封じ込める固化処理土の施工方法／五洋建設 [正] 秋本 哲平・熊谷 隆宏・小松 広孝・伊部 重治
VI-362	土質力学の原理を応用した防草シート留め具の引抜強度推定に関する検討／西日本高速道路エンジニアリング四国 [正] 高畑 東志明・橋爪 謙治・橋本 和明・松田 靖博・全 邦釘

■15:20～16:40 軌道保守(1) / 座長:桶谷 栄一

VI-363	線路設備モニタリング装置の導入と活用方法／J R 東日本 [正] 佐藤 惇一・嘉嶋 崇志
VI-364	相互相関法による軌道検測データの高精度位置補正処理の効率化の検証／鉄道総合技術研究所 [正] 田中 博文・山本 修平・葛西 亮平
VI-365	軌道検測の頻度が軌道変位進みの推移予測に与える影響の検証／鉄道総合技術研究所 [正] 山本 修平・三和 雅史・田中 博文・西藤 安隆
VI-366	軌道変位モニタリングデータの高精度データ解析手法に関する検討／株式会社日本線路技術 [正] 桶谷 賢一・渡邊 寛隆・佐藤 惇一・田中 博文・高場 基司
VI-367	軌道変位急進性把握アプリの開発／J R 東日本情報システム [正] 大庭 啓輔・西藤 安隆
VI-368	線路設備モニタリング装置を活用した効率的な保守管理に関する研究／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 山口 剛志・大野 良輔・神谷 宗
VI-369	T C 型省力化軌道における高精度軌道変位データを活用した路盤変状の把握／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 清水 彰久

■17:00～18:20 軌道保守(2) / 座長:坪川 洋友

VI-370	高精度測定による遊間の動きの実態把握／東海旅客鉄道 [正] 加藤 恭平・小川 浩司
VI-371	軌道パッド飛び出し量測定装置の開発について／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 浅香 俊朗・千葉 伸仲・富澤 竜也・大下 敦毅・高畑 俊祐
VI-372	ビデオカメラ画像による営業列車からの道床形状測定システムの開発／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 石井 浩一郎・長谷川 健太・齋藤 匡平・近藤 英記・安藤 伶
VI-373	レーザ探傷画像を転送できる装置及びアプリの開発／東日本旅客鉄道 [正] 深澤 貴史・渡邊 寛隆・岡澤 公二・坂野 浩・高村 渉
VI-374	画像解析を用いたレーザ表面状態の異常検知手法の検討／東日本旅客鉄道 [正] 小松 佳弘・西藤 安隆・元好 茂・小西 俊之
VI-375	軌道材料モニタリング装置を活用したレーザ溶接凹凸量把握についての一考察／J R 東日本 [正] 因泥 健一・齋藤 寛大・小谷 修平・辻井 光昭
VI-376	軌道材料モニタリング装置による締結装置緩み自動判定の検討／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 赤松 彦彦・加藤 優美・西藤 安隆・大林 航

平成29年度9月12日 (火) VI-6会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2306教室)

■9:00～10:20 軌道保守(3) / 座長:猿木 雄三

VI-377	慣性正矢軌道検測装置の列車動揺管理への活用の可能性評価／鉄道総合技術研究所 [正] 大島 崇史・坪川 洋友・兼子 弘
VI-378	モニタリングデータを活用した静的・動的軌道変位の関係性に関する一考察／J R 東日本研究開発センター テクニカルセンター [正] 西藤 安隆・葛西 亮平・元好 茂・小西 俊之
VI-379	高精度データを用いた道床作業後における高低変位進み評価／東日本旅客鉄道 [正] 葛西 亮平・松尾 善紀・元好 茂・小西 俊之
VI-380	営業車両による通り変位測定データに基づく軌道力学状態の推定／新潟大学大学院 [学] 千葉 颯兵・阿部 和久・小松 佳弘・紅露 一寛
VI-381	高精度検測データを活用したMT T投入時期の予測に関する研究／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 玉井 翠・葛西 亮平・山本 修平・吉田 尚史

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-382	効果的なMT T 施工軌道整備に資するフィルタ適用方法の一考察／東海旅客鉄道 [正] 咲村 隆人・杉岡 祐亮・井上 陽一
VI-383	短波長軌道狂いを考慮した新しいMT T 軌道整備手法の実用化へ向けた検討／J R 東海 [正] 矢田 太郎・曾田 祥信・永沼 泰州
VI-384	軌道測量装置を使用した絶対基準による長延長MT T 施工／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 遠田 智生・山下 友也・小原 浩美・土屋 潤一・小川 和宏
■10:40～12:00 軌道保守(4) / 座長:元好 茂	
VI-385	ロングレール交換区間の4 0 m弦通り σ 値改善の取組みについて／大鉄工業株式会社 [正] 中國 大・吉田 和宏
VI-386	新幹線波状摩耗管理の一考察／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 本山 寛・関口 雄貴・本間 博樹
VI-387	無道床橋梁における長波長軌道狂いを考慮した調整型タイプレート更換／J R 東海 [正] 君島 康太
VI-388	列車の曲線通過時に生じる内外軌の輪重を考慮した静的線形弾性解析／鉄道総合技術研究所 [正] 伊藤 老記・桃谷 尚嗣・木次谷 一平
VI-389	保守困難箇所における軌道整備／J R 東海 [正] 齋藤 隼也・堀井 靖也
VI-390	推定脱線係数比算出ソフトウェアの開発と活用／鉄道総合技術研究所 [正] 松本 麻美・田中 博文
VI-391	平均法による移動量算出の基礎理論と改良／東海旅客鉄道株式会社 [正] 永沼 泰州
VI-392	軌間・平面性測定装置の試作と軌間測定機能の動的性能検証／鉄道総合技術研究所 [正] 石川 智行・坪川 洋友

平成29年度9月13日(水) VI-6会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2306教室)

■9:00～10:20 軌道保守(5) / 座長:辻江 正裕

VI-393	レール自動溶接車の導入／九州旅客鉄道(株) 施設部 [正] 坂之下 英樹
VI-394	テルミット頭部補修溶接法の熱処理レールへの適用検討／鉄道総研 [正] 伊藤 太初・玉井 公一郎・辰巳 光正・山本 隆一
VI-395	レール頭部補修溶接法における適用範囲拡大の検討／西日本旅客鉄道 [正] 原岡 周平・数中 嘉彦・加藤 篤史
VI-396	T H R 溶接の適用拡大 ～ペイナイトレールへの適用試験～／(株) 峰製作所 [正] 加藤 篤史・徳島 慎吾・大久保 健吾
VI-397	固体潤滑剤を用いた加工継目板の性能試験／東海旅客鉄道 [正] 黒田 正寿・鈴木 克也・横井 裕紀・額邇 智也
VI-398	固体潤滑剤を用いた加工継目板の現地敷設試験／東海旅客鉄道 [正] 鈴木 克也・横井 裕紀・額邇 智也・黒田 正寿
VI-399	経年古6 0 k g レール溶接部の疲労寿命に関する一考察／(公財) 鉄道総合技術研究所 [正] 田中 俊史・井上 拓也・弟子丸 将・片岡 宏夫
VI-400	曲線中のレール破断箇所におけるレール頭部左右変位および輪重・横圧の発生傾向について／鉄道総合技術研究所 [正] 栗原 巧・片岡 宏夫・西宮 裕騎

■10:40～12:00 軌道保守(6) / 座長:山本 隆一

VI-401	レール中さし目割れの発生状況調査／鉄道総合技術研究所 [正] 辻江 正裕・兼松 義一・猿木 雄三
VI-402	レールのき裂進展速度に関する実験的考察／公益財団法人鉄道総合技術研究所 [正] 西本 晋平・細田 充・兼松 義一・片岡 宏夫
VI-403	鉄道レールの超音波検査のための半解析的有限要素法による伝搬モード解析／愛媛大学 [学] 唐川 和輝・中畑 和之
VI-404	雨天でも実施可能な浸透探傷法の開発／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 中村 慎也・柿崎 陽太・高橋 秀寿・北井 健博
VI-405	群発シェリングに特化したレール探傷装置の開発／九州旅客鉄道株式会社 [正] 兼田 英樹・大田 昌孝・田神 哲也
VI-406	レール探傷車を用いたレール摩耗検査について／九州旅客鉄道(株) 鉄道事業本部施設部 [正] 猿木 雄三
VI-407	軌道構造に着目した内軌側波状摩耗特性に関する一考察／東京地下鉄株式会社 [正] 大澤 純一郎・有田 伸介・河野 陽介・久保 奈帆美
VI-408	潤滑によるレール車輪間の摩擦係数と内軌側波状摩耗抑制に関する一考察／東京地下鉄株式会社 [正] 劍持 尚樹・河野 陽介・久保 奈帆美

■15:20～16:40 軌道保守(7) / 座長:森本 勝

VI-409	レールの削正(研削)に関する一考察／日本工営株式会社 [F] 石田 誠
VI-410	レール初期削正によるシェリング抑制効果に関する研究／J R 東日本 [正] 後藤 耕平
VI-411	レール削正品質の向上と効率的な施工の検証／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 村上 邦宏・瀬川 律文・池田 智史
VI-412	J R 西日本(在来線)における最適なレール削正周期の検討について／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 今井 啓貴・高尾 賢一
VI-413	山陽新幹線におけるレール削正車の削正可能区間拡大に向けた取り組み／西日本旅客鉄道株式会社 姫路新幹線保線区 [正] 村上 真・山本 雄平・中野 昌平

VI-414	内軌塗油効果向上を目的とした局所的なレール研削方法その2／東京地下鉄株式会社 [正] 小瀧 香
VI-415	レール削正支援システムの確立／九州旅客鉄道株式会社 [正] 阿南 龍輝
VI-416	踏切内レールの腐食傾向に関する研究／東日本旅客鉄道 [正] 松尾 喜紀・坂井 宏隆

平成29年度9月11日(月) VI-7会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2401教室)

■9:00～10:20 施工技術(3) / 座長:谷口 裕史

VI-417	ロールマット工法による配筋作業の生産性向上／鹿島建設株式会社 [正] 近藤 千賀・岸田 正博・堤 浩志・杉浦 令於・大浜 大
VI-418	合理化施工法を用いた和歌山ジャンクションAランプ橋の施工について／三井住友建設 [正] 富山 茂樹・山本 泰造・花川 泰治・鍋谷 佳克
VI-419	セグメント工法によるP C 桁の架設／大鉄工業 [正] 加藤 和宏
VI-420	法面保護工におけるU A V 航測技術の活用／大成建設(株) [正] 江田 正敏・今井 拓也・藤原 知弥・吉村 元吾・中澤 啓尚
VI-421	I C T 土工における実際の効果と課題について／砂子組 [正] 野崎 了・廣上 伸二・田中 孝宏・近藤 里史・佐藤 昌志
VI-422	テフコンを用いた橋梁補修の耐荷力評価／砂子組 [正] 平島 博樹・工藤 仁・近藤 里史・田尻 太郎・三田村 浩
VI-423	床版端部の劣化推定と補修方法に関する評価／砂子組 [正] 井元 俊介・山本 寛子・古川 大輔・長谷川 雅樹・田尻 太郎
VI-424	中間貯蔵施設における粉じん飛散防止材の検討ー即日被覆代替材の適用ー／鹿島建設株式会社 [正] 大橋 麻衣子・辻本 宏・小澤 一喜・佐藤 毅

■10:40～12:00 施工技術(4) / 座長:藤井 誠司

VI-425	道路橋桁下空間における鋼管杭の施工／大成建設株式会社 [正] 平野 純也・大田 泰二・田中 大介
VI-426	羽付鋼管杭の回転圧入連続工法(口元管の敷設から杭打設まで)の開発／東鉄工業土木エンジニアリング部 [正] 松田 康紀・笹川 透・木村 敬・小橋 弘樹・大國 順彦
VI-427	アーバンリングを泥岩層に貫入させる先行削孔の工夫／大成建設 [正] 戸塚 孝文・木村 真二・吉田 祥二・渡邊 知英
VI-428	護岸ブロック及び袋型根固め工への鋼杭打設事例／株式会社大林組 [正] 稲積 一訓・田口 博文・辰巳 ター・中島 通宏・成田 光由紀
VI-429	鉄道複線区間におけるH E P & J E S 工法のバラベットエレメント施工方法の改良／仙建工業株式会社 [正] 藤澤 優・小野地 俊榮・伊藤 克廣・桑原 清
VI-430	鋼コンクリート合成構造における鋼殻組立の施工実績／鹿島建設株式会社 [正] 小林 弘茂・岸田 正博・松崎 徹哉・浦井 賢一・奥本 現
VI-431	既設管路を取壊しながら掘進する改築推進工の施工報告／株式会社熊谷組 [正] 遠藤 建史
VI-432	狹隘地下空間における吊支保工にトラスガーター材を用いた構築施工／西松建設 [正] レー アンユーン・和田 格・松永 健・土屋 光弘

■15:20～16:40 軌道保守(8) / 座長:山崎 誠幸

VI-433	スラブ分岐車へのローラーベアリング床板の適用／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 本野 貴志・東原 孝展・唐須 崇
VI-434	次世代分岐車の最適化に向けたレール締結装置の検討／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 渡部 一人・立川 正勝・小西 俊之
VI-435	レール鋼製ノーズ可動クロッシングの可動レール又部に発生する応力の低減／鉄道総合技術研究所 [正] 及川 祐也・田中 俊史・西田 博貴
VI-436	二段勾配レール製クロッシングの耐久性検証／東日本旅客鉄道 [正] 安藤 洋次郎・堀 雄一郎・神谷 祐次
VI-437	7 分割施工によるシーサスクロッシング重軌条化／九鉄工業株式会社 [正] 三宅 将貴
VI-438	マンガンクロッシングの新たな検査方法について／東京地下鉄株式会社 [正] 松尾 東・渡邊 真一・武藤 義彦
VI-439	マンガンクロッシングの振動加速度による損傷状態の検知に関する基礎検討／(公財) 鉄道総合技術研究所 [正] 塩田 勝利・清水 紗希・及川 祐也
VI-440	床板の塗油状態を変化させた場合のトングレールの密着・接着状態のモニタリング情報を活用した検知手法の検討／鉄道総合技術研究所 [正] 佐藤 慎司・及川 祐也・塩田 勝利

■17:00～18:20 軌道保守(9) / 座長:及川 祐也

VI-441	分岐器(シーサスクロッシング)の修繕についての一考察／株式会社 交通建設 [正] 佐竹 宣章・松井 一晃・吉澤 利信
VI-442	特殊分岐器における輸送障害削減に向けた取り組み／J R 東日本 [正] 堀 雄一郎・安藤 洋次郎・柏木 将幸
VI-443	地方幹線用P C まくらぎ分岐器の構造の最適化に向けた研究／J R 東日本 [正] 水江 達也・立川 正勝・小西 俊之
VI-444	分岐器ポイント部P C まくらぎ化の更なる保守省力化に向けた検討／西日本旅客鉄道 [正] 東原 孝展・本野 貴志
VI-445	分岐器検査装置を活用した軌間線寸法の算出／東日本旅客鉄道 [正] 石坂 佳祐・篠田 勝己・堀家 哲也

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-446	復元帯域を延伸した新しい分岐器整備手法の提案／ＪＲ東海〔正〕 榊原 貴大
VI-447	分岐器における継目溶接の構造標準に向けた研究／ＪＲ東日本〔正〕 橋本 雄也

平成29年度9月12日（火） VI-7会場 （九州大学伊都キャンパス センター2号館2401教室）

■9:00～10:20 軌道保守(10) / 座長:本野 貴志

VI-448	経年劣化によるレール締結ばねの強度等に関する評価／ＪＲ東日本〔正〕 伊東 謙悟・熊倉 孝雄・小西 俊之
VI-449	重軌条化に対応したファーストクリップ型締結装置の適用検討／東日本旅客鉄道株式会社〔正〕 面高 陽紀・熊倉 孝雄・小西 俊之
VI-450	無道床橋りょう上の締結装置の組み合わせによるロングレール化／東京地下鉄株式会社〔正〕 小林 実・堀内 香絵
VI-451	低摩擦きょうのレールふく進抵抗特性／鉄道総合技術研究所〔正〕 西宮 裕騎・西本 晋平・片岡 宏夫
VI-452	レールふく進抵抗試験における温度がおよぼす影響に関する一考察／公益財団法人鉄道総合技術研究所〔正〕 野口 雅人・弟子丸 将・片岡 宏夫
VI-453	レール軸力を用いた酷暑巡回基準に関する一考察／東京地下鉄株式会社〔正〕 森 信治・星 幸江・金子 和久・福田 徹
VI-454	吊り上げ式軸力測定法の改善に関する一検討／新潟大学大学院自然科学研究科〔学〕 遠藤 一彰・阿部 和久・紅露 一寛

■10:40～12:00 軌道保守(11) / 座長:松本 剛明

VI-455	東海道新幹線の盛土区間における地盤および路盤調査（その１：地盤編）／ＪＲ東海〔正〕 川崎 祐征・植松 嵩之
VI-456	東海道新幹線の盛土区間における地盤および路盤調査（その２：路盤編）／ＪＲ東海〔正〕 植松 嵩之・川崎 祐征
VI-457	高減衰弾性まくらぎと人工バラストの軌道沈下抑止効果に関する模型実験／鉄道総合技術研究所〔F〕 相川 明
VI-458	バラスト材の弾性挙動の空間的ばらつきを有する有道床軌道における動的応答の変動量に及ぼす走行速度の影響／新潟大学自然科学研究科〔学〕 渡邊 あゆみ・紅露 一寛・阿部 和久
VI-459	浮まくらぎ状態における道床横抵抗特性に関する基礎的実験／横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院〔正〕 早野 公敏・中村 貴久・桃谷 尚嗣・市川 拓真
VI-460	小型バラスト軌道模型の道床横抵抗力のスケール効果に関する研究／鉄道総合技術研究所〔正〕 伊地知 卓也・中村 貴久・桃谷 尚嗣
VI-461	構造物境界面におけるバラスト軌道の小型模型を用いた屈屈試験／公益財団法人鉄道総合技術研究所〔正〕 中村 貴久・桃谷 尚嗣・木次谷 一平・伊地知 卓也
VI-462	構造物境界面におけるバラスト軌道の小型模型を用いた加振試験／公益財団法人 鉄道総合技術研究所軌道技術研究部〔正〕 木次谷 一平・中村 貴久・伊地知 卓也・桃谷 尚嗣

平成29年度9月13日（水） VI-7会場 （九州大学伊都キャンパス センター2号館2401教室）

■9:00～10:20 軌道保守(12) / 座長:大澤 純一郎

VI-463	スラブ軌道でん充層損傷に対する非破壊検査手法の適用に関する一考察／ＪＲ西日本〔正〕 山本 健吾・小野 隆・白水 健介・峯 宏之・吉川 恭平
VI-464	東北新幹線におけるスラブ軌道あり箇所抽出方法の検証／東日本旅客鉄道（株）大宮支社大宮保線技術センター〔正〕 築瀬 和清・山中 貞男・須藤 雅人
VI-465	軌道スラブ下に隙間が生じたスラブ軌道の挙動特性把握／公益財団法人 鉄道総合技術研究所〔正〕 吉川 秀平・高橋 貴蔵・小滝 康陽
VI-466	補修用ＣＡモルタルの凍結融解抵抗性向上に関する一検討／ニチレキ 技術研究所〔正〕 三澤 祥文・城塚 厚佑
VI-467	ＣＡモルタルの弾性係数の算定に関する研究／鉄道総合技術研究所〔正〕 小滝 康陽・高橋 貴蔵・涸上 翔太・谷川 光
VI-468	スラブ軌道ＣＡモルタルの塗膜型保護層に関する検討／ニチレキ〔正〕 平岡 富雄・佐々木 満範・松本 広明
VI-469	インターバル式圧力注入工法本線施工箇所の軌道状態について／東日本旅客鉄道株式会社〔正〕 柏木 将幸・柿崎 慎介・堀 雄一郎
VI-470	軌道スラブの移動等による線形整備について／ＪＲ西日本〔正〕 阿部 桂太郎・荒木 恵徳・伊藤 仁・山宮 大志

■10:40～12:00 軌道保守(13) / 座長:高橋 貴蔵

VI-471	ＰＣまくらぎの荷重環境の実態調査と設計における荷重係数の提案／鉄道総合技術研究所〔正〕 箕浦 慎太郎・渡辺 勉
VI-472	列車通過時のレール継目部におけるラダーマクラギの動的応答に関する検討／京王電鉄〔正〕 水野 圭太・重岡 剛雄・渡辺 勉・箕浦 慎太郎
VI-473	下級線におけるウレタンパッドを活用した構造物前後対策について／東日本旅客鉄道株式会社〔正〕 富岡 健太
VI-474	道床ふるい分け機による道床噴泥対策試験施工／大鉄工業 和歌山支店 和歌山出張所〔正〕 平野 健一郎
VI-475	折り畳み式バラスト飛散防止ネットの開発／東海旅客鉄道〔正〕 額綱 智也・横井 裕紀・後藤 康夫・黒田 正寿
VI-476	MT T 施工におけるツール設定深さの検証について／東日本旅客鉄道株式会社〔正〕 田中 健太郎・金子 真一・谷 隆一郎

VI-477	弾性まくらぎ直結軌道用レール転倒防止装置の開発／東日本旅客鉄道株式会社〔正〕 板倉 真理佳・熊倉 孝雄・小西 俊之
VI-478	特殊区間用の転用レール方式逸脱防止ガードの開発／西日本旅客鉄道株式会社〔正〕 井上 拓也・柳谷 勝

■15:20～16:40 軌道保守(14) / 座長:立川 正勝

VI-479	鋼橋直結Ⅲ形軌道区間における地絡発生に対する一考察／ＪＲ西日本〔正〕 竹田 純也
VI-480	深坂トンネル短まくらぎ成化 施工方法に関する一考察／大鉄工業〔正〕 若林 裕史
VI-481	新たな橋まくらぎと桁定着治具の営業線敷設結果の検証／東日本旅客鉄道株式会社〔正〕 赤沼 潤一・今村 萌子・熊倉 孝雄
VI-482	臨時列車運行周知システムの開発について／ＪＲ九州(株)博多保線区南福岡管理室〔正〕 佐野 弘典・川崎 恭平
VI-483	牽引式レール交換機の完成について／大鉄工業(株)本社線路部〔正〕 坂本 士・森田 貢・近重 宏徳・安中 武
VI-484	除雪装置付軌道モータカーの導入／ＪＲ東海〔正〕 深沢 晃・堀 映二
VI-485	軌道上における除草作業の機械化に向けた取組み／東日本旅客鉄道株式会社〔正〕 栗田 淳・中西 健一・澤口 朋典・高賀 あや
VI-486	まくらぎ穿孔機の開発とその活用方法／東海旅客鉄道〔正〕 二反田 龍治・額綱 智也

平成29年度9月11日（月） VI-8会場 （九州大学伊都キャンパス センター2号館2402教室）

■9:00～10:20 施工技術(5) / 座長:杉山 律

VI-487	角形鋼管切梁を用いた仮設工事の作業効率改善事例／株式会社大林組〔正〕 福井 正章・小林 謙二・篠崎 真弘・村上 賢治
VI-488	大規模洞道の吊り防護とアンダービニング統合管理システムの導入／株式会社大林組〔正〕 村上 賢治・荒井 総一郎・福井 正章・今井 淳一郎・辻 奈津子
VI-489	硬質地盤における鋼矢板施工時の騒音・振動計測／清水建設〔正〕 小宮山 由起江・秀嶋 桂・宮瀬 文裕・谷川 将規
VI-490	体育館建設工事ともなう地下水位低下と復水について／株式会社 アサヒテクノ〔正〕 尾崎 哲二・遠山 文行・川村 和靖・川尻 謙一・山本 紀雄
VI-491	曳航自沈式アンカー（ジャイロアンカー）沈没誘導システムの開発（その２）／ゼニヤ海洋サービス〔正〕 西田 秀紀・大友 英明・佐藤 明久
VI-492	運用中のダム再開発工事における河川内仮締切実績について／鹿島建設〔正〕 菅井 貴洋・北崎 伸二・武井 昭・安東 隆昌
VI-493	グラウンドアンカーの長期暴露試験／NEXCO東日本北海道支社旭川管理事務所〔正〕 石川 尚樹・大友 弘志・平文 文
VI-494	小型電動式二重管削孔機の開発／東鉄工業〔正〕 鈴木 裕明・高橋 茂・塚田 堅士・赤羽 俊彦・露崎 正行

■10:40～12:00 施工技術(6) / 座長:喜多 直之

VI-495	河川改修に伴う営業線直下での鉄道橋下部工改築／東海旅客鉄道株式会社〔正〕 市岡 賢三・今村 哲平
VI-496	橋梁上下部工事でのプレキャスト化による生産性向上事例／西日本高速道路株式会社〔正〕 前原 直樹・大原 一也・水野 克彦・富山 茂樹
VI-497	鉄道活線下におけるＲＣ橋梁撤去方法の一事例／仙建工業株式会社〔正〕 佐藤 春海・佐々木 崇人・大場 宏樹
VI-498	新名神高速道路一庫大落次川橋及び東畦野橋の鋼桁架設／西日本高速道路株式会社〔正〕 大原 一也・佐々木 浩治
VI-499	鋼管矢板井筒基礎におけるトラス型支保工一括架設の施工／鹿島建設〔正〕 高野 恵佑・合樂 将三・小林 裕
VI-500	油圧式自昇降式足場の採用による高橋脚における足場作業の安全性向上／（株）竹中土木〔正〕 柿澤 雅樹・長友 良二・塩谷 良成
VI-501	銀座線渋谷駅改良工事における第 1 回線路切替工事実績／東京地下鉄株式会社〔正〕 新井 泰・藤野 覚・内山 光
VI-502	東西線早稲田駅エレベーター設置工事に伴う既設ビルの基礎撤去施工実績／東京地下鉄株式会社〔正〕 一寸木 朋也・臼井 康人・森内 純平

■15:20～16:40 施工技術(7) / 座長:笹原 克夫

VI-503	阿蘇大橋地区斜面防災対策工事（直轄砂防災害関連緊急事業）の取組み（その１）－災害および施工の概要－／熊谷組〔正〕 西尾 正隆・光武 孝弘・宮脇 悟・山下 正治
VI-504	阿蘇大橋地区斜面防災対策工事（直轄砂防災害関連緊急事業）の取組み（その２）－斜面災害危険区域での調査計測工－／熊谷組〔正〕 片山 政弘・光武 孝弘・石濱 茂崇・土屋 任史・土居 陽介
VI-505	阿蘇大橋地区斜面防災対策工事（直轄砂防災害関連緊急事業）の取組み（その３）－厳しい条件下での重機の運搬（分解・組み立て）－／熊谷組〔正〕 中嶋 修作・渡邊 賢一・石田 直己・長束 聖一・戸田 修実
VI-506	阿蘇大橋地区斜面防災対策工事（直轄砂防災害関連緊急事業）の取組み（その４）－土留盛土工の計画・設計・施工－／株式会社 熊谷組〔正〕 天下井 哲生・光武 孝弘・野村 真一・中出 剛・土居 陽介
VI-507	阿蘇大橋地区斜面防災対策工事（直轄砂防災害関連緊急事業）の取組み（その５）－土留盛土工の排水構造と施工－／熊谷組〔正〕 山下 正治・光武 孝弘・野村 真一・佐藤 裕治・長束 聖一
VI-508	阿蘇大橋地区斜面防災対策工事（直轄砂防災害関連緊急事業）の取組み（その６）－無人化施工技術－／（株）熊谷組〔正〕 坂西 孝仁・北原 成郎・飛鳥馬翼・長束 聖一・土屋 任史

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-509 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事（直轄砂防災害関連緊急事業）の取組み（その7）－頭部排土工の設計と施工－/株式会社 熊谷組 [正] 寺田 倫康・光武 孝弘・野村 真一・土居 陽介・長束 聖一
- VI-510 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事（直轄砂防災害関連緊急事業）の取組み（その8）－監視および計測－/熊谷組 [正] 石濱 茂崇・光武 孝弘・野村 真一・土屋 任史・片山 政弘

■17:00～18:20 施工技術(8) / 座長:春木 正史

- VI-511 超小型小口径推進工法の開発・実用化と適用事例/株式会社関電工 [正] 井口 昌之・赤羽 俊彦・速見 享・高橋 茂
- VI-512 地盤切削JES工法における切削ワイヤーの改良検討/東日本旅客鉄道 [正] 谷村 将規・小泉 秀之・中村 征史・岩沢 理恵
- VI-513 岩盤切削機の施工効率向上を目的とした切削ビットの改良検討/奥村組土木興業 [正] 藤森 章記・川畑 雅樹・丸山 健一
- VI-514 鋼管矢板井筒基礎の水中掘削に伴う重力式土べら落としについて/鹿島建設 [正] 桑島 修彦・合樂 将三・小林 裕
- VI-515 鋼管矢板井筒基礎におけるトラス型支保工一括架設の設計/鹿島建設 [正] 向市 清司・合樂 将三・小林 裕
- VI-516 流水部に位置する橋脚への任意深度定着型仮締切り工法の開発/第一建設工業 [正] 春日 秀文・佐藤 勇樹・村上 幸司・白石 将光
- VI-517 流水部に位置する橋脚への任意深度定着型仮締切り工法の適用/第一建設工業 [正] 丸山 哲郎・高橋 範明・武部 真悟・伊藤 俊祐
- VI-518 気泡とビニール膜を用いた解体騒音の低減に関する検討/(株)大林組技術研究所 [正] 本田 泰大・池上 雅之・木村 志照・渡辺 充敏

平成29年度9月12日(火) VI-8会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2402教室)

■9:00～10:20 アセットマネジメント(1) / 座長:青木 千里

- VI-519 目視点検結果に基づく兵庫県内市町管理道路橋の劣化特性評価/神戸大学大学院 [正] 美濃 智広・森川 英典・渡邊 佳秀
- VI-520 橋梁長寿命化修繕計画での利用を目的とした部材劣化予測手法の提案/茨城大学 [正] 原田 隆郎・小島 将聖
- VI-521 橋梁定期点検調査を用いた新潟県内のコンクリート道路構造物の早期劣化傾向の検討/長岡工業高等専門学校専攻科 [学] 中川 直人・井林 康
- VI-522 鋼製橋脚基部の腐食損傷に対するFEM解析を用いた対策判定区分指標の設定手法/株式会社オリエンタルコンサルタンツ [正] 久木留 貴裕・梅林 福太郎・二村 大輔・江口 智裕・中山 元
- VI-523 3D橋梁維持管理システム(BEMAPS)の道路橋への適用検討/ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社 [正] 清水 智弘・太田 一秀・池之上 理恵
- VI-524 生存時間解析を用いた北陸三県の橋梁における早期劣化傾向に関する一考察/金沢大学大学院 [正] 牧 祐之・近田 康夫・鳥居 和之・深田 幸史
- VI-525 新潟県及び市町村の海岸線に位置する管理橋梁の健全度分布/国土交通省 関東地方整備局 [正] 松藤 洋照・長井 宏平・井林 康・柏 貴裕
- VI-526 北陸の自治体を対象とした橋梁データフォーマットに関する基礎的研究/金沢大学 ((株)日本海コンサルタント) [正] 町口 敦志・近田 康夫

■10:40～12:00 アセットマネジメント(2) / 座長:堀 倫裕

- VI-527 橋梁の劣化予測に関する定量的考察/株式会社 高速道路総合技術研究所 [正] 白川 裕之
- VI-528 伸縮装置の劣化が鋼桁端部の腐食に及ぼす影響評価/大阪大学工学部 [学] 阪本 凌一・音地 拓・貝戸 清之・小林 潔司
- VI-529 重回帰分析に基づく地下鉄トンネル上床のはく離・はく落発生要注意区間の推定/東京大学 [正] 湧田 雄基・小川 大貴・安達 慎一・石川 雄章・小西 真治
- VI-530 寒冷地トンネルにおける覆工劣化の推移について/岩田地崎建設 [正] 河村 巧・佐藤 京・須藤 敦史・丸山 取・兼清 泰明
- VI-531 一般国道における舗装マネジメント論の試験的検討/大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻 [学] 田中 晶大・松島 裕也・小濱 健吾・貝戸 清之・小林 潔司
- VI-532 確率の変数選択による統計的劣化予測モデルの推定時間短縮効果/大阪大学大学院 [正] 水谷 大二郎・貝戸 清之
- VI-533 部分係数設計法における自動車荷重への一般化極値モデルの適用と設計値の設定方法/愛媛大学 [正] 大窪 和明・稲見 亮汰・奥井 義昭

平成29年度9月13日(水) VI-8会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2402教室)

■9:00～10:20 アセットマネジメント(3) / 座長:吉田 三郎

- VI-534 鉄道における部外気象情報を活用した降雨モニタリング範囲の検討/西日本旅客鉄道株式会社 [正] 佐々木 良・杉山 友康・藤井 昌隆・森 泰樹
- VI-535 保守現場における航空レーザ計測技術を活用した斜面管理手法の一考察/JR西日本 [正] 衛藤 一平・古賀 小百合
- VI-536 小型UAVによる空撮画像を用いた積雪断面測定/(株)構研エンジニアリング [正] 高橋 浩司・本田 秀樹・長沼 芳樹・保木 和弘・白川 龍生
- VI-537 100年以上寒冷地海洋環境下で経過した旧通信省根室北方領土間通信施設コンクリート構造物の保存と歴史遺産的意義についての考察/国立大学法人三重大学地域イノベーション推進機構・社会連携特任教授 [正] 桜井 宏・岡田 包儀・佐伯 昇・久保 浩昭・日置 晋時
- VI-538 MMS及びドライブレコーダを用いた道路管理情報の調製可能性に関する研究/アジア航測(株)事業推進本部 空間情報事業部 西日本空間情報部 [正] 秋本 弦太郎・今井 龍一・谷口 寿俊・松井 晋
- VI-539 社会にインパクトのある研究:暮らしを豊かにする創未来インフラの構築～「造る」から「活かす」そして「生きる」へ/東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センター [正] 鎌田 貢・久田 真・有賀 雅奈・三浦 直子・高橋 くみ

- VI-540 維持管理の現場におけるICT活用について/(株)補修技術設計本社技術部 [正] ガンゾリグ ウーガンムフ・中馬 勝己・斉藤 雅信

- VI-541 コンクリートの品質管理に対する取り組みについて/パシフィックコンサルタンツ(株)情報システム部 [正] 藤原 広志

■10:40～12:00 アセットマネジメント(4) / 座長:工藤 徹郎

- VI-542 トンネル点検用プラットフォームの開発/日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 [正] 寺戸 秀和・藤田 一宏・安井 成豊・林 利行・大石 龍太郎
- VI-543 ICTによる検査データを用いたトンネル維持管理への取組み/東京地下鉄株式会社 [正] 五十嵐 翔太・宮本 光基・今泉 直也・三浦 孝智・榎谷 祐輝
- VI-544 センサデータを活用したトンネル内走行軌跡推定手法の提案/三井共同建設コンサルタント株式会社 [正] 吉武 俊章・木下 義博・江本 久雄・宮本 文徳
- VI-545 橋梁及びトンネルの劣化を考慮した道路ネットワークの災害時途絶リスクの検討/金沢大学 [正] 小川 福嗣・近田 康夫
- VI-546 橋梁を支える人口から見た地域格差の現状/復建技術コンサルタント [正] 小早川 正樹・唐木 正史・久田 真・石川 弘子
- VI-547 橋梁アセットマネジメントによる健全度向上効果の検証/鹿島建設 [正] 岩井 悠・工藤 健一郎・館山 恵実・池田 真理子・日樂喜 剛啓
- VI-548 東京都特別区における橋梁の維持管理マネジメントに関する問題分析と解決策の提案/東京工業大学 [正] 千々和 伸浩・齋藤 亮太・後藤 幹尚・齊藤 武司・岩波 光保
- VI-549 産学官連携による橋梁メンテナンス統合データベースシステム(DBMY)の開発について/山形県村山総合支庁建設部西村山河川砂防課 [正] 高橋 和明・後藤 美保・阿部 博行・久田 真・鎌田 貢

■15:20～16:40 リニューアル(1) / 座長:勝谷 康之

- VI-550 狭隘な場所におけるウォータージェット削孔技術の開発～曲り削孔技術の概要～/大成建設 [正] 高倉 克彦・森田 泰司・竹中 計行・久野 浩二・遠藤 一広
- VI-551 テーパー型ナットをPC鋼棒定着体としたあと施工アンカー工法のへりあき・群の影響確認試験/サンコーテック株式会社 [正] 藤井 保也・今井 清史・増田 公雄・小林 薫・伊藤 隼人
- VI-552 空港エプロンNC舗装勾配修正工法に使用する樹脂コンクリートの物性値確認試験/大成建設株式会社 [正] 神谷 誠・大塚 徳之・柳下 剛・伊藤 大輔
- VI-553 既設道路橋美装化区間におけるクリアFRPグレーチング恒久足場の検討/日本エン지니어リング [正] 政門 哲夫・平野 秀一・中澤 治郎・鈴木 啓之
- VI-554 完全水系高機能防錆塗装の採用と実施工/株式会社奥村組 [正] 沼田 憲・渡邊 章彦・小出 昌克・渡辺 光治
- VI-555 水力発電所リニューアル工事の設計・施工/西松建設株式会社 [正] 西見 宣俊・松永 健・神田 隆雄
- VI-556 発電所導水路トンネルの通水能力改善-イビデン広瀬発電所第3隧道改修-(株)熊谷組 [正] 中村 圭・小田 真央・大本 晋士郎

平成29年度9月11日(月) VI-9会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2403教室)

■9:00～10:20 施工技術(9) / 座長:新村 亮

- VI-557 温度管理に着目した豪雪地橋脚補強の昇降式足场上的コンクリート熱風養生試験施工/東鉄工業 [正] 本山 時男
- VI-558 柱部材を事例とした長期間にわたる水分逸散抑制養生の効果/鹿島建設 技術研究所 [正] 芦澤 良一・渡邊 賢三・林 宏延・半井 恵介・石田 哲也
- VI-559 熱可塑性樹脂シートによる水分逸散抑制養生の合理化に関する検討-無化粧合板の適用性-/鹿島建設株式会社 [正] 中谷 俊晴・柿本 啓太郎・芦澤 良一・大管 健・藤原 研三
- VI-560 ボックスカルバート側壁における長期間の水分逸散抑制養生/鹿島建設株式会社 [正] 柿本 啓太郎・渡邊 賢三・中谷 俊晴・外山 和仁・榎本 洸太郎
- VI-561 四電極法によるコンクリート養生終了時期判定技術の現場適用に関する検討/佐藤工業 [正] 伊藤 正・本多 生吾・宇野 洋志城

- VI-562 橋梁壁高欄における熱可塑性樹脂シートを用いた長期湿潤養生の効果/鹿島建設技術研究所 [正] 仲森 悠晃・石田 哲也・阿部 千枝・戸張 正利・渡邊 賢三

- VI-563 覆工コンクリートへの吸引式給水養生工法適用における乾燥収縮低減効果と表層品質改善効果/安藤ハザマ [正] 三沢 良太・栗原 浩彦・白岩 誠史・井上 諒・室岡 俊和

■10:40～12:00 施工技術(10) / 座長:清水 正巳

- VI-564 橋梁下部工における品質向上および品質管理の効率化に関する報告/安藤ハザマ [正] 中村 康祐・政岡 龍司・斉藤 智行・白岩 誠史・庄司 彰
- VI-565 再振動締固めによるコンクリート鉛直打継目の品質向上/鹿島建設 [正] 品田 健太・柿本 啓太郎・入倉 英明・渡邊 有寿・相馬 良太
- VI-566 覆工コンクリートの目地および表層品質向上への取組み/大林組 [正] 中嶋 祐里・泉水 大輔・福島 隼人・桜井 邦昭
- VI-567 寒中環境での高炉スラグ微粉末高含有コンクリートの施工性に関する一考察/戸田建設 [正] 新谷 岳・土師 康一・田中 徹・佐藤 幸三・椎名 貴快
- VI-568 小型振動式タンピング締固め機による床版コンクリートの仕上げ効果/川田建設 [正] 杉田 悠美子・弘中 義昭・下山 秀男・倉田 裕二・太田 哲
- VI-569 海外製コンクリート均し機(スクリッド機)の性能評価/鹿島建設(株) [正] 弓削 毅・横関 康祐・林 大介・曾我部 直樹・川崎 文義
- VI-570 透水性型枠工法を適用した構造物の耐凍害性の向上効果/前田建設工業(株) [正] 兼光 雄大・福原 康顕・白根 勇二・佐藤 正
- VI-571 鋼道路橋床版への簡易仕上げ機の適用について/駒井ハルテック [正] 岡田 幸児・多々見 隆幸・堀口 耕平

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

■15:20～16:40 施工技術(11) / 座長:三木 浩

- VI-572 注水併用エアークリーニング工法のトンネル覆工への適用／熊谷組 [正] 神崎 恵三・尾畑 洋・山口 哲司・高橋 望
- VI-573 N A T Mトンネル覆工コンクリートにおける施工目地部の変状抑制対策とその効果／西松建設 [正] 宮田 和美・目崎 浩二・河内 正道・大智 貴広・細田 曉
- VI-574 既設堤体下流面に構築する大規模増厚コンクリートの最高到達温度の低減実績／鹿島建設株式会社 [正] 切島 弘貴・森本 修三・白川 豪人・中山 雅登・重松 明
- VI-575 ヒートパイプクーリングを用いた特殊マンホールの温度ひび割れ対策／大成建設株式会社 [正] 高 鳴笛・中井 久隆・太田 祥史・阿武 潔
- VI-576 橋梁下部工における部分パイプクーリングのひび割れ抑制効果の確認／安藤ハザマ [正] 政岡 龍司・佐々木 照夫・白岩 誠史・中村 康祐・庄司 彰
- VI-577 液体窒素クーリングの適用による温度ひび割れ抑制手法と効果／飛島建設 [正] 槇島 修・川里 麻莉子
- VI-578 沖縄県海上橋下部工に適用したフライアッシュコンクリート温度ひび割れ低減効果／前田建設工業 [正] 角 翼・江頭 俊郎・平川 彩織・坂口 伸也・富山 潤

■17:00～18:20 施工技術(12)、施工計画(1) / 座長:杉橋 直行

- VI-579 スポンジコンクリート止めを利用した妻型枠の施工実績／鹿島建設 [正] 藤井 信宏・志賀 真悟・西村 元伸・羽口 武士・坂本 真
- VI-580 高流動コンクリート使用による逆巻き部の側壁・柱の閉合計画と施工／大成建設 [正] 熊谷 翼・伊藤 正樹・上野 修彦・村上 達也
- VI-581 高流動コンクリートによるハーモニカ鋼殻内打設について／大成建設 [正] 西尾 成夫・松元 淳一・小島 裕隆・松村 遼右・石垣 博将
- VI-582 超速硬コンクリートによる供用中の滑走路の舗装打替え／鹿島建設 [正] 今村 福一・西郷 敏弘
- VI-583 大規模コンクリートの効率的な打継方法／大成建設株式会社 [F] 水野 克彦・吉澤 崇幸
- VI-584 砂防堰堤におけるコンクリートの打設間隔の短縮に向けた温度応力解析による検討／大日コンサルタント [正] 町 勉・伊藤 誠記・片桐 知治・山村 真司・角 清正
- VI-585 エアフェンス工法による打継型枠施工実績／鹿島建設 [正] 辻 裕幸・相澤 栄治・藤原 賢也

平成29年度9月12日 (火) VI-9会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2403教室)

■9:00～10:20 リニューアル(2) / 座長:吉田 善紀

- VI-586 鋼橋まくら木受台における疲労き裂の発生原因説明／東海旅客鉄道 [正] 稲葉 涼二・森田 雅也・土井 宏政・高橋 和也
- VI-587 鋼橋まくら木受台における疲労き裂の対策方法検討／東海旅客鉄道 [正] 森田 雅也・土井 宏政・稲葉 涼二・高橋 和也
- VI-588 水主町架道橋におけるリベット頭部破断の原因究明と対策の策定／東海旅客鉄道株式会社 名古屋土木技術センター [正] 岩田 耕平・久村 剛・野中 大輔
- VI-589 下路トラス橋下横構材の変状原因の究明／東海旅客鉄道株式会社 [正] 向井 天・瀬平 強美・山本 裕士
- VI-590 鋼橋の補修への適用を想定したC Aモルタルの疲労特性／一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 [正] 橋本 雅行・小野 秀一・小林 裕介・濱上 洋平・福本 守
- VI-591 新幹線合成品桁橋の支点部における変状と対策について／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 浜田 栄治・秋山 啓太・清水 達哉・菅井 正
- VI-592 鋼鉄道箱桁内に発生した疲労き裂の原因と対策／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 越智 達也・小浦 貴明・大都 亮・松本 健太郎
- VI-593 鉄桁上フランジ溝型補強の耐荷力評価に関する一考察／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 西脇 美安・小浦 貴明・中山 太士・石川 敏之

■10:40～12:00 リニューアル(3) / 座長:福本 守

- VI-594 東海道新幹線箱桁端部下フランジに発生した首溶接き裂の原因究明及び対策検討／J R東海 [正] 高橋 眞・辻 英之・植村 潤
- VI-595 東海道新幹線トラス橋の中間補剛材天端部に発生した変状の原因と対策／J R東海 [正] 辻 英之・高橋 眞・植村 潤
- VI-596 鋼鉄道橋の簡易省座補修工法の検証／J R西日本 金沢土木技術センター [正] 丸田 健博・丹羽 雄一郎・池頭 賢・中口 聡志
- VI-597 鋼鉄道橋 薄型B P-R 查の挙動調査／西日本旅客鉄道 (株) [正] 西田 寿生・木村 元哉・七村 和明・山田 不二彦
- VI-598 鋼鉄道トラス橋ローラー支承の可動改善方法について／J R西日本 [正] 矢野 康平・中山 太士・岡本 陽介
- VI-599 まくらぎ加工を伴わない鉄桁補修方法の検討／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 三輪 陽彦・小浦 貴明・越智 達也・中山 太士・岡本 陽介
- VI-600 鉄道高架橋柱の駅中階における耐震補強工事／(株)熊谷組関西支店土木部 [正] 大河 芳賢

平成29年度9月13日 (水) VI-9会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2403教室)

■9:00～10:20 リニューアル(4) / 座長:森瀬 喬士

- VI-601 海岸護岸背面土砂流出の原因と対策／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 東浦 和也・橋本 哲朗・福永 功・中山 邦彦
- VI-602 鉄道軌道直下において繰り返し注入型地山補強土工法「ロータスアンカー工法」を用いた耐震補強事例について／株式会社フジタ [正] 出川 博・山元 剛・別府 正顕

- VI-603 プレキャストパネルと高強度繊維補強モルタルを用いた耐震補強工法の施工／東急建設 [正] 高橋 泰成・笠倉 亮太・白崎 能生・黒岩 俊之・魚住 亮一
- VI-604 張コンクリートの背面地山の風化とその変状対策に関する一考察／西日本旅客鉄道 [正] 上野 知也・西田 幹嗣・窪塚 大輔・藤村 義和
- VI-605 鋼製護岸防食対策の追跡調査による効果確認／J R東海 [正] 長谷川 誠・野中 泰輔
- VI-606 重要度ランク機能を付加したはく落要注意箇所の自動抽出システムの機能改良／東京地下鉄株式会社 [正] 小川 大貴・三浦 孝智・小西 真治・篠原 秀明・村田 利文
- VI-607 鉄道トンネルにおけるはく落実態に関する一考察／J R東日本 [正] 込山 実・鈴木 尊
- VI-608 鉄道トンネルにおける維持管理方法に関する一考察／東日本旅客鉄道 (株) [正] 宮崎 真弥・込山 実・鈴木 尊・脇山 勘治

■10:40～12:00 リニューアル(5) / 座長:出本 剛史

- VI-609 地下鉄開削トンネルの変状に対する耐荷性能の評価 (その1) ～変状要因の分析～／東京地下鉄株式会社 [正] 亀井 啓太・小西 真治・江原 文武・阿南 健一
- VI-610 地下鉄開削トンネルの変状に対する耐荷性能の評価 (その2) ～耐荷性能の評価～／東電設計 [正] 阿南 健一・小西 真治・江原 文武・亀井 啓太
- VI-611 飛騨トンネル非常駐車帯部における吹付け多層覆工構造10年経過時点の評価／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 (株) [正] 佐藤 淳・足立 嘉文・津野 康則・小野山 利之
- VI-612 水力発電所導水路トンネルのインバート全面補修／熊谷組 [正] 金子 伸和・中村 圭
- VI-613 トンネル中央通路側壁傾斜の原因と対策に関する検討／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 渡邊 晃久・弓岡 省吾・小谷 洋平・坂田 和也
- VI-614 新幹線トンネルにおける路盤隆起対策と効果の検証／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 久保原 猛・北川 一希・藤田 麻里
- VI-615 矢板工法トンネルの盤膨れに対するインバート補強の検討／高速道路総合技術研究所 [正] 前川 和彦・八木 弘・海瀬 忍・國村 省吾・奥井 裕三
- VI-616 車線規制下のトンネル大規模更新の効率化に関する検討／(株)ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 中野 清人・安積 淳一・渡辺 陽太・永井 宏・西村 和夫

■15:20～16:40 リニューアル(6) / 座長:西川 修

- VI-617 塗装材料を用いたトンネル内装工の現状と適用性の検討／株式会社高速道路総合技術研究所 [正] 増田 弘明・八木 弘・海瀬 忍
- VI-618 トンネル更新事業におけるタイル直張り内装の品質確保について／(株)ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 倉持 典幸・安積 淳一・松平 智・下岡 英智・中野 清人
- VI-619 既存水路トンネルのパネルライニング工法を用いた改修実績／鹿島建設 [正] 沢 一馬・花田 則昭・鈴木 幸幸・松本 光善
- VI-620 剥落対策工としてのポリウレア樹脂の性能評価／鉄道総合技術研究所 [正] 板谷 創平・野城 一栄・嶋本 敬介
- VI-621 ポリウレア樹脂を用いたトンネル覆工の剥落防止対策の現地試験施工／鉄道総合技術研究所 [正] 野城 一栄・嶋本 敬介・鎌田 和孝・込山 実
- VI-622 高度経済成長期に建造されたトンネルの変状原因と対策／東日本旅客鉄道 (株) 横浜支社 [正] 酒井 景祐・今野 恵子
- VI-623 トンネル覆工背面空洞に対する効率的な調査方法および裏込注入工に関する一考察／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 原田 悟・北川 一希・中沢 ちづる・久保原 猛
- VI-624 発泡ウレタン40倍による既設トンネル裏込注入工の漏出幅および注入増加率について／株式会社マシノ [正] 濱田 晋・木下 泰範・坂本 全布

平成29年度9月11日 (月) VI-10会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2404教室)

■9:00～10:20 リニューアル(7) / 座長:朝隈 竜也

- VI-625 少雪地域における落雪防止柵の設計及び施工／中日本高速道路株式会社大月保全・サービスセンター [正] 山本 航
- VI-626 高速道路の盛土内浸透水排除対策と盛土補強対策の検討について／西日本高速道路株式会社 [正] 村上 豊和・鈴木 健太郎・川波 敏博
- VI-627 のり面防護工の降雨に対する現行性能評価に関する研究／東日本旅客鉄道 (株) 横浜支社 [正] 籠 雅貴
- VI-628 木曽川の洪水と猿尾群の歴史／太栄コンサルタンツ [F] 馬場 慎一・伊藤 政博・加藤 英明
- VI-629 登録有形文化財森村橋の復元のための詳細調査および復元方針決定の紹介／八千代エンジニアリング株式会社 [正] 永富 大亮・溝口 久・五十畑 弘
- VI-630 土木構造物の長寿命化を目的とした水切り材の開発／パシフィックコンサルタンツ [正] 小沼 恵太郎・高橋 俊二・武延 芳治・山田 真寛
- VI-631 凍害により劣化した吹付けの枠の補修の考え方と原位置補修試験／日建設株式会社 [正] 窪塚 大輔・宇次原 雅之

■10:40～12:00 リニューアル(8) / 座長:富山 毅

- VI-632 首都高速1号羽田線 (東品川枝橋・鯉淵埋立部) 更新工事の概要／大林組 [正] 玉田 和法・磯部 龍太郎・堀田 尚史・岩城 孝之
- VI-633 首都高速1号羽田線更新工事迂回路の構造概要／首都高速道路 (株) [正] 堀田 尚史・磯部 龍太郎・岡 雄太・富永 高行
- VI-634 急速施工と施工性向上を実現した大規模更新工事における迂回路構造／大林組 [正] 富永 高行・磯部 龍太郎・堀田 尚史・岩城 孝之

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-635	新型プレキャスト壁高欄（EMC壁高欄）の開発（その1）ー構造概要と静的載荷実験による性能確認ー/株式会社 大林組 [正] 岩城 孝之・磯部 龍太郎・関 雄太・富永 高行
VI-636	新型プレキャスト壁高欄（EMC壁高欄）の開発（その2）ー実車衝突実験および解析による性能確認ー/首都高速道路 [正] 関 雄太・磯部 龍太郎・岩城 孝之・富永 高行
VI-637	鋼単統合成形橋床版取替えに伴うPC外ケーブル併用の鋼桁補強について/中日本高速道路株式会社 [正] 長谷 俊彦・田尻 丈晴・池上 浩太郎
VI-638	斜角の小さい橋梁の床版取替について/西日本高速道路 [正] 清水 宏志・山下 恭敬
VI-639	二方向アラミド繊維シート補強による床版の疲労耐久性について/名古屋高速道路公社 [正] 福地 佳典・鈴木 信勝・山下 章・太田 翔

■15:20～16:40 リニューアル(9) / 座長:熊坂 徹也

VI-640	集中工事の車線規制による床版取替と並行した床版上面増厚の断面分割施工について/オリエンタル白石 [正] 大谷 悟司・浦野 悟・長谷 俊彦
VI-641	東名高速道路 用宗高架橋（下り線）の床版取替え工事ー設計概要および現地計測についてー/川田建設 [正] 吉松 秀和・小松 一明・佐藤 徹也・倉田 朋和・小山 梨紗
VI-642	東名高速道路 用宗高架橋（下り線）の床版取替え工事ー施工についてー/川田建設 [正] 山岸 俊一・北川 学・真田 修・倉田 朋和・黒木 武
VI-643	床版取替時の延長床版設置に関する検討/西日本高速道路（株） [正] 久行 高弘・鈴木 健太郎・山下 恭敬
VI-644	斜橋の床版取替に伴う延長床版設計/西日本高速道路株式会社 [正] 菅原 大暉・朝倉 功・山下 恭敬・中積 健一
VI-645	半断面床版取替工法の試行/西日本高速道路（株） [正] 山下 恭敬・清水 宏志
VI-646	半断面床版取替における設計事例報告/西日本高速道路株式会社 [正] 井手 将一・山口 雅幸
VI-647	半断面施工による床版取替工事の施工について/株式会社ピーエス三菱 [正] 上城 良文・満田 恭輝・三浦 拓也・瀬藤 裕基

■17:00～18:20 リニューアル(10) / 座長:愛敬 圭二

VI-648	支承縁端距離不足と凍害により劣化した支承補修設計/（株）オリエンタルコンサルタンツ [正] 上野 大介・古賀 秀幸・安倍 敦・宮内 健
VI-649	首都高羽田線線更新工事における迂回路の構造選定と急速施工（全体概要）/首都高速道路 [正] 小島 直之・山本 多成・濱崎 景太・藤村 博・釘宮 晃一
VI-650	首都高羽田線線更新工事における迂回路の構造選定と急速施工（工事用動線の確保）/株式会社 大林組 [正] 藤村 博・山本 多成・釘宮 晃一・小島 直之・濱崎 景太
VI-651	首都高羽田線線更新工事における迂回路の構造選定と急速施工（一般部の施工）/首都高速道路（株） [正] 濱崎 景太・山本 多成・小島 直之・藤村 博・釘宮 晃一
VI-652	首都高羽田線線更新工事における迂回路の構造選定と急速施工（特殊部の施工）/株式会社大林組 [正] 釘宮 晃一・山本 多成・小島 直之・濱崎 景太・藤村 博
VI-653	縦桁増設工法による既設床版補強に対する合理的な設計手法に関する検討/（株）建設技術研究所 [正] 王 健・松本 崇志・光川 直宏・田中 智之・佐藤 彰紀
VI-654	自然電位法を活用した塩害環境下における橋梁下部工の補修について/（株）ネクスコ・エンジニアリング北海道 [正] 藤井 直己・村山 陽・中川 公太
VI-655	維持管理性向上を目指した橋台改良計画/（株）富士ビー・エス [正] 佐東 有次・藤木 昂・山下 恭敬

平成29年度9月12日（火） VI-10会場 （九州大学伊都キャンパス センター2号館2404教室）

■9:00～10:20 リニューアル(11) / 座長:廣田 元嗣

VI-656	予防保全を目的とする高速道路大規模盛土の2次元表面波探査による初期値取得/中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京 [正] 笹本 直之・谷口 陽一・柳田 展幸・大窪 克己・西田 直也
VI-657	吹付のり面に対する維持管理の新たな展開ーサーモグラフィ調査ー/山北調査設計 [正] 大平 英樹・相樂 弘明
VI-658	サーモグラフィ1時刻法による吹付のり面調査への適用/オリエンタルコンサルタンツ [正] 古山 翔悟・出本 剛史・河野 伸征・大平 秀樹・相樂 弘明
VI-659	タブレット端末を用いたキルギス国における道路防災データベースの構築/長岡工業高等専門学校専攻科 [学] 馬場 ひとみ・澤田 賢太郎・井林 康
VI-660	グラウンドアンカー頭部見える化キャップの製品開発/中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社 [正] 西田 直也・笹本 直之・大原 基憲・野口 明・川崎 廣貴
VI-661	ラフ集合を用いた実橋梁目視点検結果の有効活用/福島工業高等専門学校建設環境工学科 [正] 江本 久雄・緑川 猛彦
VI-662	飛行体を用いた高度な点検手法の開発ー構造物点検への利活用ー/中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京（株） [正] 中村 尚武・伊東 剛・堀 隆一
VI-663	ICTを活用した橋りょう直営点検/小田原市役所 [正] 曾根 浩樹・千石 武史・安達 慎一・松藤 洋照・鎌田 貢

■10:40～12:00 リニューアル(12) / 座長:内藤 英樹

VI-664	市町村の橋梁維持管理における課題と問題点の抽出/近畿大学理工学部社会環境工学科 [正] 東山 浩士・古市 亨・松井 繁之・大山 公清
VI-665	市町村が管理する中小橋梁の維持管理（仮設橋梁を本設橋梁へ転用した橋梁の事例）/近畿建設協会 [正] 山本 幸雄・財満 直也・東山 浩士・松井 繁之・安岡 正泰
VI-666	国道8号における一般走行車両の交通特性について/近畿建設協会 [正] 林 正一・松井 繁之・古市 亨・山本 幸雄・杉若 武

VI-667	タブレット端末を用いた地方自治体向けの橋梁概略点検および道路付属物点検システムの実用化の検討/長岡工業高等専門学校専攻科 [学] 小黒 運・井林 康
VI-668	33年経過したオーブングレーチングの溶融亜鉛めっき劣化度評価の考察/本州四国連絡高速道路株式会社 [正] 井上 晃祐・森脇 正生
VI-669	豊田市における重要度の低い橋梁に対する維持管理の方向性（その3）/豊田市役所 [正] 鈴木 康貴・星川 雅貴
VI-670	継続的な取り組みを見据えた効率的な橋梁点検の仕組み作りの構築/上山市 [正] 武田 秀人・柏倉 義管・久田 真・鎌田 貢・石川 弘子
VI-671	市町による橋梁直営点検への取り組み（島根プロジェクト）/奥出雲町役場 [正] 安部 俊光・野村 拓也・松田 徹・富樫 篤英・石倉 英明

平成29年度9月13日（水） VI-10会場 （九州大学伊都キャンパス センター2号館2404教室）

■9:00～10:20 リニューアル(13) / 座長:田所 敏弥

VI-672	電着工法を適用した鉄筋コンクリート梁の曲げ特性の検討/安藤ハザマ [正] 齋藤 淳・山本 周・西田 孝弘・大即 信明
VI-673	TL-14荷重で設計された鋼曲弦トラス橋に対する外ケーブル補強の試算/大日コンサルタント [正] 坂井田 実・山本 一博・村上 茂之
VI-674	金武橋（下り線）他2橋の床版取替工事におけるプレキャスト壁高欄の施工について/オリエンタル白石株式会社 [正] 田中 暁大・江嶋 謙・脇坂 英男・鯉島 力・塚本 太郎
VI-675	既設鋼製壁高欄に代わる取替用新構造高欄における実験的検討/阪神高速道路株式会社 [正] 安積 恭子・杉岡 弘一
VI-676	ケーブル収容管耐震技術の橋梁区間への適用/NTT [正] 柿元 啓祐・杢山 義弘・金山 守
VI-677	関門橋へのケーブル送気乾燥システムの導入について/西日本高速道路 [正] 山本 誠也・後藤 昭彦・城戸 靖彦
VI-678	亜硝酸リチウム水溶液を用いたPC鋼棒のグラウト充填不足部の注入確認試験/ピーエス三菱 [正] 深川 直利

■10:40～12:00 リニューアル(14) / 座長:田口 直樹

VI-679	塩害環境の厳しいRC中空床版裏面コンクリートの補修工法検討/本州四国連絡高速道路 [正] 新野 貴大・貴志 友基・長尾 幸雄
VI-680	PC高架橋の漏水経路調査の実施報告/本州四国連絡高速道路株式会社 [正] 江口 敬一・麓 興一郎・信重 和紀
VI-681	耐候性鋼橋における保護性さびの状況調査と対策工の検討/（株）ネクスコ・エンジニアリング北海道 [正] 中村 肇・櫻庭 拓也・長瀬 修
VI-682	夜間通行止めによる鋼橋の床版取替ー東北自動車道 中山橋ー/東日本高速道路（株） [正] 林 秀和・村西 信哉・綱川 悠
VI-683	道路橋床版更新工事における既設床版撤去方法の効率化/大成建設 [正] 北村 健・岸田 政彦・石原 陽介・岩崎 郁夫・保坂 和孝
VI-684	PCケーブルが破断した国道18号妙高大橋の維持管理について/大日本コンサルタント [正] 伊藤 裕章・吉越 政浩・登石 清隆・谷口 雄一
VI-685	PC桁グラウト再注入における施工方法の改良/大鉄工業（株）神戸支店神戸幹線土木メンテナンス出張所 [正] 片山 直紀・立川 正明

■15:20～16:40 リニューアル(15) / 座長:山口 順一郎

VI-686	首都高速1号羽田線勝島地区のPCゲルバー橋連続化の効果検証/首都高道路株式会社 [正] 榎谷 直樹・石橋 正博・中畝 将太・相川 智彦
VI-687	生保内橋床版補強工事報告（樹脂注入併用型下面増厚工法による長寿命化対策）/日本建設保全協会 [正] 宗 栄一・小松 剛・西川 貴志・杉山 幸一
VI-688	北陸自動車道 早月川床版更新工事の設計/川田建設（株） [正] 岩瀬 祐二・山田 稔・本庄 正樹・今井 平佳
VI-689	損傷・劣化が著しい道路橋床版の補修対策/ライト工業 [正] 久下 陽人・大槻 俊正・石井 昌雪
VI-690	ウェブギャップ板の取替補修構造の疲労耐久性等の検証/首都高速道路 [正] 鈴木 寛久・飛田 遼・平山 繁幸
VI-691	鋼箱桁ゲルバー支承部の鉸桁化構造改良/首都高速道路株式会社 [正] 村井 啓太・中野 博文
VI-692	安全性向上に向けた既設道路防護柵の改良更新/中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋 [正] 阿部 徳男・葛川 敦文・野村 清政

平成29年度9月11日（月） VI-11会場 （九州大学伊都キャンパス センター2号館2406教室）

■9:00～10:20 ロボット、自動化、情報化施工(1) / 座長:青木 浩章

VI-693	重量鉄筋配筋作業支援ロボット【配筋アシストロボ】の開発/清水建設 [正] 大木 智明・小西 真・本保 裕文
VI-694	建設機械オペレータの視線特性調査/国立研究開発法人 土木研究所 [正] 山田 充・藤野 健一・梶田 洋規・橋本 毅
VI-695	災害発生時における無人化施工等の運用に関する課題点について/（国研）土木研究所 [正] 橋本 毅・藤野 健一・梶田 洋規・油田 信一
VI-696	宇宙・地上利用を指向した自律制御協調型の遠隔施工システム/鹿島建設株式会社技術研究所 [正] 浜本 研一・三浦 悟・星野 健・若林 幸子・須藤 真珠
VI-697	搭載型人工筋肉ロボットによる伐採作業の無人化施工システム/鹿島建設 [正] 丹芳男・太田 裕士・伊勢 卓史・小澤 貴志
VI-698	UAVを活用したコンクリート床版下面墨出し作業の省人化工法/株式会社 竹中土木 [正] 倉知 星人・平井 卓

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-699 無人航空機（ドローン）による構造物への補修材吹付けにおける機体と対象構造物の距離の可視化技術の適用検証／西武建設〔正〕二村 憲太郎・井上 靖雄・伊代田 岳史・長谷川 忠大・油田 信一
- VI-700 自動現場密度試験ロボット開発のための改良散乱型R I 試験器評価／竹中土木〔正〕千葉 力・大村 啓介・池永 太一・塩見 篤志

■10:40～12:00 ロボット、自動化、情報化施工(2) / 座長:武石 学

- VI-701 施工管理情報のビッグデータとしての活用に関する一考察／国立研究開発法人 土木研究所〔正〕田中 洋一・藤野 健一・梶田 洋規
- VI-702 ダム工事におけるダンプトラックによる土砂運搬・荷卸し作業の自動化／鹿島建設(株)〔正〕田島 大輔・浜本 研一・宮内 良和・奈須野 恭伸・櫻井 祥貴
- VI-703 ロックフィルダム堤体材料のまき出しにおける自動化ブルドーザの試適用／鹿島建設〔正〕黒沼 出・小熊 正・加納 清・菅原 俊幸・櫻井 祥貴
- VI-704 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事（直轄砂防関連緊急事業）における「無人移動体画像伝送システム」を用いた無線通信に関する実験報告／熊谷組〔正〕古谷 駿・野村 真一・伊藤 宗輝・坂西 孝仁・大本 晋士郎
- VI-705 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事（直轄砂防災害関連緊急事業）における無人化施工建設機械の自律制御システムに関する実験報告／熊谷組〔正〕飛島馬 翼・野村 真一・伊藤 宗輝・北原 成郎・長谷川 忠大
- VI-706 鉄筋結束ロボットの開発／大成建設株式会社〔正〕高橋 要
- VI-707 産業用ロボットを使用した建材計測の開発／大成建設株式会社〔正〕石井 喬之・青木 浩章・石井 稔之・武田 英彦・丸山 尋之
- VI-708 インバータシステムによる復水井戸の自動運転制御／鹿島建設〔正〕笹岡 里衣・中島 悠介・笹倉 剛・田中 俊行・松岡 永憲

■15:20～16:40 ロボット、自動化、情報化施工(3) / 座長:森本 直樹

- VI-709 I C Tコンクリート打設管理システムの現場適用性／前田建設工業〔正〕岩井 和彦・大野 茂・小峰 風太・笹倉 伸晃
- VI-710 T B M吹付モルタル自動ハツリ装置の開発／清水建設株式会社〔正〕前田 全規・木村 厚之・田上 達之・塚田 純一
- VI-711 自動荷重測定装置搭載LOADR I T E X 2 3 5 0バックホウによる積載重量管理／鹿島建設株式会社〔正〕井上 友・山本 陽平・石川 晴章・東 伸吉
- VI-712 場所打ち杭の孔内水位安定化システムの改良／鉄建建設〔正〕岩瀬 隆・永野 雄一
- VI-713 3 Dスキャナとプロジェクションマッピング技術を用いたインパルト掘削管理方法の開発／清水建設〔正〕青野 泰久・竹内 啓五・中谷 篤史・山本 将
- VI-714 寸法公差を適用した3次元アノテーションモデルの考察／国土基盤モデル研究会〔正〕城古 雅典・有賀 貴志・矢吹 信喜
- VI-715 HMDを用いた臨場型遠隔映像システムの開発／大成建設株式会社 技術センター〔正〕今石 尚・加藤 崇
- VI-716 U A V写真測量による地形把握作業の効率化を目指したシステム構築／株式会社パスコ〔正〕間野 耕司・今西 裕昭・吉村 元吾・内海 克哉・五十嵐 善一

■17:00～18:20 ロボット、自動化、情報化施工(4) / 座長:安藤 拓

- VI-717 4ブームフルオートコンピュータジャンボによるI C T施工例－国道106号 宮古盛岡横断道路 新区界トンネル工事－／鹿島建設(株)〔正〕手塚 康成・赤石 広秋・川野 広道・栗山 和之
- VI-718 一体型簡易3 Dスキャナと余掘り評価ソフトの開発／鹿島建設〔正〕犬塚 隆明・手塚 康成・岩野 圭太・浜本 研一・白坂 紀彦
- VI-719 発破後の切羽の形状測定結果に基づく穿孔プランの改善／鹿島建設〔正〕井上 勇太・西川 幸一・福田 博之・岩野 圭太・小泉 悠
- VI-720 公共通信網未整備地域における情報化施工の試み／前田建設工業〔正〕小野 稔和・森 英治
- VI-721 I C Tを活用したコンクリート大量打設管理システムの開発／大成建設〔正〕石田 桂子・林 雄志・高橋 智彦・荒川 雄大・森田 泰司
- VI-722 I C T土工現場における管理業務の高度化を目的とした地質情報C I M管理システムの適用／安藤ハザマ〔正〕宇津木 慎司
- VI-723 カメラ位置を直接計測する手法を用いた空中写真測量に関する検証／(一社)日本建設機械施工協会〔正〕椎葉 祐士・大谷 仁志・本田 肇・永沢 薫

平成29年度9月12日（火） VI-11会場 （九州大学伊都キャンパス センター2号館2406教室）

■9:00～10:20 ロボット、自動化、情報化施工(5) / 座長:前田 宗宏

- VI-724 i - C o n s t r u c t i o n で適用する出来形の面管理に係わる基準類の検討／国土交通省 国土技術政策総合研究所〔正〕森川 博邦・近藤 弘嗣・長山 真一・舩田 裕司
- VI-725 盛土の法面整形工におけるマシンコントロールバックホウの適用効果に関する一考察／日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所〔正〕藤島 崇・宇田 陽介・石橋 昌樹・岩淵 裕
- VI-726 I C T土工を利用した工程改善に関する現場事例紹介／(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所〔正〕伊藤 文夫・岩淵 裕・森川 博邦・高柳 佐和子・若林 康郎
- VI-727 I C Tを全面的に導入した造成工事の成果と課題について／株式会社大林組〔正〕近藤 岳史・本村 祐二・古屋 弘
- VI-728 G N S S位置情報とQ Rコードを用いたE P S軽量盛土の施工管理／日本国土開発株式会社〔正〕四宮 圭三・佐野 健彦・武田 祐二・小笠原 一基・中村 裕希
- VI-729 ステレオ写真測量（地上移動体）を用いた出来高・出来形管理の現場事例紹介／施工技術総合研究所〔正〕佐野 昌伴・八木橋 宏和・森川 博邦・高柳 佐和子・若林 康郎
- VI-730 トンネル工事未舗装区間におけるMMSトンネル点検車を用いた断面計測の実績および考察／日本国土開発〔正〕佐野 健彦・細井 泰行・長尾 孝幸・小野田 敏

- VI-731 ダムコンクリート骨材粒径判別システムの開発／清水建設株式会社〔正〕白崎 耕平・竹内 啓五・松崎 和敏

■10:40～12:00 測量、センシング、GPS(1) / 座長:片山 政弘

- VI-732 i - C o n s t r u c t i o n を視野に入れたMMSによる起工測量での精度検証／安藤ハザマ〔正〕木村 拓磨・早川 健太郎・黒台 昌弘・足立 有史・白石 宗一郎
- VI-733 土工出来形計測を対象としたU A V搭載型レーザスキャナの基礎的な性能評価実験／安藤ハザマ〔正〕武石 学・黒台 昌弘・澤 正樹・中野 一也・鈴木 英夫
- VI-734 MMSとU A V計測による盛土出来形計測の適用例／西松建設〔F〕佐藤 靖彦・矢尾板 啓・堺 浩一・安井 嘉文・細野 高宏
- VI-735 U A V写真測量精度の向上に対する実証実験結果／西武建設〔正〕須長 真介・二村 憲太郎・川前 勝三郎・金野 直樹
- VI-736 土工管理にU A Vを活用する場合の効果的な運用方法について／安藤・間〔正〕早川 健太郎・黒台 昌弘・木村 拓磨・澤 正樹・足立 有史
- VI-737 切土法面の3 Dモデルを生成する場合のU A V飛行上の留意点／安藤ハザマ〔正〕黒台 昌弘・早川 健太郎・木村 拓磨・澤 正樹・武石 学
- VI-738 U A Vを用いた法面計測と処理ソフトウェアの実例／大成建設株式会社〔正〕青木 浩章・石井 喬之・鈴木 裕一朗
- VI-739 普及型U A Vの建設工事への活用に関する検討／奥村組土木興業〔正〕梅宮 利之・藤森 章記

平成29年度9月13日（水） VI-11会場 （九州大学伊都キャンパス センター2号館2406教室）

■9:00～10:20 測量、センシング、GPS(2) / 座長:佐藤 靖彦

- VI-740 i - C o n s t r u c t i o n 導入施工事例及び検証について／大林組 土木本部署長室〔正〕杉浦 伸哉・田島 僚・田原 康平
- VI-741 U A Vを用いた写真測量の港湾構造物への適用の検討／五洋建設株式会社〔正〕三國 貴一・勝田 哲史・石田 仁・山中 哲志
- VI-742 リアルタイム性を考慮した土量計算モデルに関する検討／日本国土開発 西日本支社 土木技術部〔正〕中村 裕希・佐野 健彦
- VI-743 三次元画像を活用した盛土材粒径計測方法の試験適用／竹中土木〔正〕東中 邦夫・大村 啓介・小西 一生・藤田 行茂・福田 芳雄
- VI-744 カルシア改質土・浸漬土人工石製造時のR I 密度水分計による品質管理／五洋建設〔正〕辻 匠・野中 宗一郎・安藤 満・佐々木 慎・長尾 喬平
- VI-745 小口径推進工法の光掃引式位置計測技術の開発／アイレック技建株式会社〔正〕森治郎・渡邊 武士・八木 生剛・菅井 栄一
- VI-746 管推進工事における曲線推進の測量管理について／九鉄工業株式会社〔正〕久保 佑太
- VI-747 盛土施工による軟弱地盤の変状を計測・管理する「無人動態観測システム」の開発／株式会社大林組〔正〕西村 俊亮・望月 勝紀・森田 晃司・大野 淳司

■10:40～12:00 測量、センシング、GPS(3) / 座長:後関 淳司

- VI-748 U A V（小型無人飛行機）による盛土の品質管理手法の検討／立命館大学〔正〕小林 泰三・藤原 美波・戎 剛史
- VI-749 U A V（小型無人航空機）による盛土の維持管理手法の検討／国土防災技術(株)〔正〕藤原 美波・戎 剛史・小林 泰三
- VI-750 ベルコンスキャナ実証実験－光切断法による連続ベルコン傷検知および土量計測システム－／大成建設株式会社〔正〕片山 三郎・石井 稔之・白坂 紀彦・田口 三法
- VI-751 3 Dモデリングの活用による利根川の堆積土砂量の計算／群馬工業高等専門学校〔正〕先村 律雄・小林 雅人・柳澤 護・大橋 祥子
- VI-752 3 Dモデリングの要素サイズが標高・土量計算に与える影響／関東測量株式会社〔正〕柳澤 護・小林 雅人・大橋 洋子・先村 律雄
- VI-753 関西国際空港連絡橋の洗堀および電気防食調査／西日本高速道路株式会社〔正〕土井 翔悟・熊井 貴弘・高井 久一・井上 定雄・古河崎 正博
- VI-754 3次元点群データを用いた測量精度に関する実験的検討／東日本旅客鉄道〔正〕高見澤 拓哉・井口 重信・竹谷 勉
- VI-755 I - C o n s t r u c t i o n 等の成果の3次元データを用いたデジタル道路地図の調製・更新に関する基礎的研究／東京都市大学〔学〕山田 実典・今井 龍一・谷口 寿俊

■15:20～16:40 測量、センシング、GPS(4) / 座長:近藤 高弘

- VI-756 S f Mと地上型レーザスキャナーによる3 D建物モデルの精度検証／東洋大学〔正〕久保寺 貴彦・政春 尋志・里見 裕己・川井 純也
- VI-757 鉄道構造物へのプロダクトモデルの導入に向けた課題／東日本旅客鉄道〔正〕田原 孝
- VI-758 G P S静的測位解析の検定におけるR a t i o とP D F - R a t i o の比較／東京理科大学〔正〕佐伯 昌之
- VI-759 G N S Sを用いた地下管路の位置計測に関する基礎検証について／N T T アクセスサービスシステム研究所〔正〕小口 傑・秋山 義弘・金山 守
- VI-760 G P SとQ Z S Sの併用測位における3周波利用の効果に関する研究／日本大学〔正〕池田 隆博
- VI-761 高仰角に位置するQ Z S Sの併用による鉛直方向精度の向上効果に関する研究／日本大学〔学〕酒井 昂紀・佐田 達典・江守 央
- VI-762 植生の背景反射を考慮した正規化植生指標画像作成上の留意点／東京理科大学理工学部土木工学科〔学〕清本 貴哉・小島 尚人・三熾 快・藤澤 竜治

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-763 G N S S測位を用いたクレーン作業の安全管理／三井住友建設株式会社〔正〕千葉史隆・三上 博

平成29年度9月11日（月） VI-12会場（九州大学伊都キャンパス センター2号館2407教室）

■9:00～10:20 建設事業計画、工程管理 / 座長:山下 正治

- VI-764 耳川水系総合土砂管理計画と山須原ダム改造計画（Ⅰ．ダム通砂の概要及び山須原ダム堤体仕様様の検討概要について）／九州電力株式会社耳川水力整備事務所〔正〕川上 馨詞・向原 秀樹
- VI-765 耳川水系総合土砂管理計画と山須原ダム改造計画（Ⅱ．仮締切下部の構造上の特徴とその計画・施工の概要について）／前田建設工業（株）九州支店〔正〕吉田 宏三郎・川上 馨詞・真岸 徹・本間 誠一
- VI-766 地球環境対策のための廃棄物最終処分場施設の持続的事業運営の課題検討／北見工業大学〔正〕岡田 包儀・桜井 宏・佐伯 昇・鈴木 明人・日置 晋時
- VI-767 火力発電所純水タンク基礎およびろ過タンク基礎における埋込み杭の施工管理ー石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち機械・電気設備基礎他工事 工事報告ー／北海道電力〔正〕齋藤 寿秋・池田 裕樹・橋本 篤志
- VI-768 I C Tを活用した現場管理業務について／株式会社大林組〔正〕田代 晃基・山崎 哲也・井上 猛・林 圭一・確井 真一郎
- VI-769 L N Gタンク防波堤工事における工程短縮事例／大林組北電富山L N G J V工事事務所〔正〕原 拓也・谷口 達彦・宮本 慎也・江藤 成彦
- VI-770 波浪予報データの作業船運航管理への適用に関する一考察／大成建設 技術センター社会基盤技術研究所〔正〕羽角 華奈子・織田 幸伸
- VI-771 震災復興現場における残存型枠の使用による生産性の向上／株式会社奥村組〔正〕大竹 康広

■10:40～12:00 品質管理(1) / 座長:横尾 敦

- VI-772 型枠に設置したセンサによるコンクリート締固め時の振動加速度測定に関する実験／日本国土開発株式会社〔正〕山内 匡・千賀 年浩・野口 貴文・北垣 亮馬・西島 茂行
- VI-773 実際に打設した断面修復材に対する衝撃弾性波法による品質管理／リック株式会社〔正〕岩野 聡史・渡部 正・坂本 良憲・貫藤 大夫
- VI-774 低熱セメントと鉛直パイプクーリングを併用した水槽構造物の温度ひび割れ対策について／鴻池組〔正〕福田 尚弘・吉田 涼平・小嶋 貴久・山口 尚久
- VI-775 フライアッシュセメントに対するアクリル系打継ぎ処理剤の適用性～第1報 室内配合試験での評価～／清水建設株式会社〔正〕宮田 佳和・佐久間 清文・関口 雄介・服部 直・小川 翔平
- VI-776 フライアッシュセメントに対するアクリル系打継ぎ処理剤の適用性～第2報 打継ぎ長期暴露時の打継ぎ性能確認～／北海道電力株式会社〔正〕関口 雄介・佐久間 清文・宮田 佳和・米子 佳広・小川 翔平
- VI-777 プレキャスト製高欄基部に使用する充填材の品質管理方法の検討／東日本旅客鉄道株式会社〔正〕川村 孝太郎・塩田 彩夏・黒田 智也・井口 重信
- VI-778 橋梁下部工におけるコンクリートの品質確保に関する取組み／東急建設〔正〕鈴木 将充・折田 統一郎・木下 豊・中野 義浩
- VI-779 活線工法による橋りょう架設時の橋台背面埋戻しの施工／J R東海〔正〕矢田 輝一・伊藤 史将・三宅 修司・郷 将典・高垣 優

■15:20～16:40 品質管理(2)、安全管理(1) / 座長:久保 昌史

- VI-780 総合工事における労働災害防止に向けた新たな課題の抽出／労働安全衛生総合研究所〔正〕高木 元也
- VI-781 ドラグ・ショベルの斜面降下時の限界傾斜角に関する検討／労働安全衛生総合研究所〔正〕堀 智仁・玉手 聡
- VI-782 車両運行管理システムによる運転支援と車両・輸送物のリアルタイム管理ー中間貯蔵バリエーション輸送におけるスマートG－S a f eの機能拡張と適用／鹿島建設〔正〕中村 泰広・前田 宗宏・藤本 健治郎・本田 豊・中尾 曉彦
- VI-783 衛星通信を利用した連絡・通信体制の確立および施工管理の省力化／大林組〔正〕尾内 陽介・山口 貴志・平山 浩司・八巻 謙二・岡本 寿春
- VI-784 第二浜田ダム本体建設工事における入退場管理システムおよび作業実績管理システム／鹿島建設〔正〕人見 志郎・近藤 正芳・奈須野 恭伸・大木 洋和・伊勢 卓矢
- VI-785 P C L N Gタンク側部冷熱抵抗緩和材の厳冬期における施工管理／大成建設〔正〕本谷 幸康・寺岡 匡伸・北郷 徳久・西宮 暁
- VI-786 陸上工事における長尺鋼管杭の打設精度について／大林組〔正〕浦田 将弘・佐々木 徹・金田 和男・小宮 奈保子
- VI-787 情報通信技術を活用した土工（I C T土工）へのR I 測定器適用に関する一提案／ソイルアンドロックエンジニアリング〔正〕後藤 政昭・石井 正紀・井上 恵介

■17:00～18:20 安全管理(2) / 座長:八朝 秀晃

- VI-788 保守用車運行の取扱い誤りに学ぶヒューマンエラー防止／シーエヌ建設〔正〕大西 亨匡・近藤 拓也
- VI-789 旧石狩川頭首工撤去工事に適用する出水予測回帰モデルの検証／大成建設〔正〕大野 剛・本田 隆英・伊藤 一教・遠山 正恭・大橋 章一
- VI-790 構造物に併設された足場の風力に及ぼす幅木の高さの影響その3 剥離流の影響に関する検討／労働安全衛生総合研究所〔正〕高橋 弘樹・大幢 勝利・大垣 賀建雄
- VI-791 塩川橋・下り線の施工および安全対策／西日本高速道路〔正〕小山 敏史・進 繁樹・田口 靖雄・河中 源一
- VI-792 「五夢しるべ」の開発ー鋼製杭一体型ゴム製サインボラードー／丸五ゴム工業〔正〕中野 将之・藤原 泰明・古城 純史・高田 知典・君岡 銀兵
- VI-793 明かり発破における飛石事故の現象と原因に関する分析／フジタ〔正〕宇田川 義夫
- VI-794 切羽常時計測を旨としたボータブル傾斜計の適用性／清水建設〔正〕松野 遼太郎・福田 毅・安藤 拓・芳賀 博文・芥川 真一

VI-795 営業線上空を連続的に斜交差する張出し施工の安全対策／大成建設・ピーエス三菱JV〔正〕新庄 皓平・深澤 俊雅・前原 直樹・菊山 智裕

平成29年度9月12日（火） VI-12会場（九州大学伊都キャンパス センター2号館2407教室）

■9:00～10:20 CIM(1) / 座長:北原 剛

- VI-796 山岳トンネル工事におけるC I M現場適用を目指したシステム構築／バスコ〔正〕五十嵐 善一・宮田 岩住・矢尾板 啓・宮辻 和宏
- VI-797 トンネル工事における3次元可視化システムの適用／熊谷組〔正〕国領 優・神崎 恵三・大野 伸也・伊藤 省二・遠藤 太嘉志
- VI-798 3次元地質モデルを活用した山岳トンネルC I Mの現場適用事例／西松建設株式会社〔正〕原 久純・田中 勉・鬼頭 夏樹
- VI-799 3次元地質解析システムの概要と現場適用事例／鴻池組〔正〕高馬 崇・山田 浩幸
- VI-800 トンネルの施工穿孔データを利用した前方地山の予測技術／鹿島建設株式会社〔正〕白鷺 卓・宮嶋 保幸・山本 拓治・西川 幸一・福田 博之
- VI-801 トンネルの施工穿孔データを利用した脆弱部の出現確率の評価技術／鹿島建設〔正〕宮嶋 保幸・白鷺 卓・山本 拓治・西川 幸一・福田 博之
- VI-802 C I Mを活用した斜面計測監視3 D - I C Tシステムの開発および施工現場への適用／安藤ハザマ〔正〕中谷 匡志・宇津木 慎司
- VI-803 U A Vおよびレーザースキャナーを用いた3次元測量データの現場適応事例／鴻池組〔正〕大畑 拓也・國富 和真

■10:40～12:00 CIM(2) / 座長:杉浦 伸哉

- VI-804 クラウド型仮想デスクトップサービスによる工事管理（大分川ダム工事報告）／鹿島建設〔正〕小倉 精太・奈須野 恭伸・寺本 淳一・加納 清
- VI-805 情報化施工による長大トンネル調査坑でのC I M展開事例／鹿島建設株式会社〔正〕小林 幸司・河本 貴史・桑原 良輝・阿部 求
- VI-806 C I Mを活用した鉄道地下駅構築工における生産性向上事例／鹿島建設（株）〔正〕外山 和仁・東田 卓也・根岸 範明・矢野 栄二郎
- VI-807 現場打ちコンクリートの新しい管理手法の提言ーコンクリート工事の品質向上及び生産性向上に向けてー／大成建設〔正〕豊田 由仁・渡邊 高也・北原 剛・橋詰 幸信
- VI-808 I C TとC I Mを活用したコンクリート施工管理システムの運用／大林組〔正〕末宗 利隆・田中 将希・八木 純樹・森山 信・野口 彰
- VI-809 長距離・大断面シールド工事におけるリアルタイム管理手法についてーC I M・V Rの活用にもつてー／清水建設（株）土木事業本部〔正〕小野澤 龍介・前田 俊宏・橋本 隆紀
- VI-810 パイプインパイプ工事におけるC I Mの活用／東急建設〔正〕中島 敏勝・山本 博司・五戸 一貴・竹之内 健太
- VI-811 三次元解析とC I Mの連係による設計合理化システム構築への取組み／鹿島建設〔正〕上田 純広・山沢 哲也・大家 史

平成29年度9月13日（水） VI-12会場（九州大学伊都キャンパス センター2号館2407教室）

■9:00～10:20 施工計画(2) / 座長:田坂 幹雄

- VI-812 環2勝どき高架構 遮音壁の施工／（株）大林組〔正〕伊藤 チャールズ健吉・福原 健治・中村 鉄也
- VI-813 高速道路の右側付加車線方式による試行運用および現場での創意工夫／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋〔正〕日東 義仁・上水 一路
- VI-814 夜間工事照明の照度が誘虫性に与える影響に関する基礎調査／清水建設株式会社〔正〕橋本 純・森 日出夫・青山 晋一・正井 洋一・林 豊
- VI-815 短時間での工事桁架設の施工実績／鹿島建設〔正〕松元 貴史・岡 寿一・笠原 大輔・寺内 敏也
- VI-816 プラットホーム部における土留鋼矢板圧入工事（上部障害クリア工法の適用）／鹿島建設〔正〕江口 元・井出 雄介・北川 雄基
- VI-817 2段密集配管ラックにおける下段配管撤去工事の報告／大成建設〔正〕角崎 由貴子
- VI-818 城南河川清流復活活管移設工事における技術的対策について／大成建設〔正〕大塚 翔一・森 正宏・小野 浩之・梁田 久美子・関根 啓介
- VI-819 既設下水幹線に新設下水幹線を直接接続するための開口部補強の検討／東急建設〔正〕藤井 貴裕・北口 茂・北沢 宏和・前田 欣昌

■10:40～12:00 施工計画(3) / 座長:尾崎 健一郎

- VI-820 鋼橋床版コンクリートの施工における考察／九鉄工業株式会社〔正〕松田 直樹
- VI-821 東海道こ線線路橋鋼製橋脚および鋼桁架設ー営業線直上でのクレーン架設ー／大成建設〔正〕杉浦 義徳・嘉村 達司・青木 貴志・田邊 潔志
- VI-822 線路上空部での道路橋桁撤去に関する施工計画／東日本旅客鉄道 東北工事事務所〔正〕林 利充・高橋 紗希子
- VI-823 高速道路上空の既設橋脚横梁撤去に対する試験施工／株式会社大林組〔正〕山角 康樹・多田 浩治・右高 裕二・齋藤 隆
- VI-824 高速道路拡幅工事における既設ラケット型橋脚の撤去計画／首都高速道路〔正〕右高 裕二・多田 浩治・兼丸 隆裕・齋藤 隆
- VI-825 供用中の高速道路を横断する橋梁架設に対する安全対策／西日本高速道路（株）〔正〕白武 佑斗・佐溝 純一・安部 哲生・宮崎 靖悟
- VI-826 超高強度繊維補強コンクリート桁を用いた営業線鉄道橋の架け替え工事／大成建設〔正〕大塚 信介・篠田 貴宏・岩元 篤史

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-827 架道橋改築工事に伴う工事桁分割架設時における工夫／東鉄工業 [正] 山田 和人・根本 龍典

■15:20～16:40 施工計画(4) / 座長:重光 達

- VI-828 既設タイロッド擁壁の盛土嵩上げに伴う構造計画および設計・施工／西日本旅客鉄道(株)大阪工事事務所おおさか東線南工事事務所 [正] 大橋 亮平・橋本 直樹・小倉 強
- VI-829 逆解析手法に基づく土留工の効率化／戸田建設 [正] 木戸 しおり・岩永 祐治・鷹取 寛
- VI-830 護岸改修工事における既設構造物を活用した仮設計画と狭隘作業の合理化／株式会社大林組 [正] 富所 宏多・蔵園 和人・山浦 克仁・上原 郷・今井 淳一郎
- VI-831 シールドマシン発進時の土留計画における工夫／清水建設株式会社 [正] 足助 美岐子・大田 寛・宗像 慎也・三木 浩・鎌倉 友之
- VI-832 パイプインパイプ工法用発進立坑の設計／清水建設 [正] 金丸 亜紀・高橋 伸知・安藤 陽
- VI-833 東京外環大泉JCT立坑工事 ーその1 工事概要ー／清水建設 [正] 小串 正明・緒畑 和也・本間 龍介・古川 美典・小野 健弘
- VI-834 東京外環大泉JCT立坑工事 ーその2 門型クレーン構台ー／清水建設 [正] 戸田 明良・緒畑 和也・本間 龍介・古川 美典・藤井 誠司
- VI-835 東京外環大泉JCT立坑工事 ーその3 門型クレーン基礎ー／清水建設株式会社 [正] 上仲 亮・塚田 裕史・佐々木 博昭・前田 俊宏・藤井 誠司

平成29年度9月11日(月) VI-13会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2409教室)

■9:00～10:20 新材料・新素材 / 座長:大脇 英司

- VI-836 穴開き鋼板によるひび割れ抑制材料の特性試験と覆工コンクリートへの適用について／戸田建設 [F] 関根 一郎・山田 勉・田中 徹・山火 智洋
- VI-837 コンクリートのひび割れ抑制材料の凍結融解試験と寒冷地での適用事例／戸田建設(株)札幌支店 [正] 藤原 弘久・北本 広樹・関根 一郎・田中 徹・新井 延幸
- VI-838 加熱改質フライアッシュが現場打ちコンクリートのワーカビリティに及ぼす影響／フローリック [正] 上本 洋・齋藤 隆弘・佐藤 貴之・久田 真・皆川 浩
- VI-839 加熱改質フライアッシュの現場打ちコンクリートへの適用／奥村組 [正] 齋藤 隆弘・佐藤 貴之・久田 真・皆川 浩・東 邦和
- VI-840 保温養生材によるコンクリートの保温養生効果に関する実験的検討／りんかい日産建設 [正] 中出 睦・中出 睦・野原 貴純・高山 浩一
- VI-841 蒸気養生を行わないジオバリマコンクリートの高温抵抗性について／大林組 [正] 青木 峻二・富井 孝喜・原田 耕司・西崎 丈能・大西 俊輔
- VI-842 道路周辺におけるプラスチック製雨水地下貯留浸透施設の適用状況の分析と調査／積水化学工業 [正] 小林 直・志村 吏士・栗山 卓
- VI-843 道路下におけるプラスチック製雨水地下貯留浸透施設の設計／積水化学工業株式会社 [正] 志村 吏士・栗山 卓・小林 直

■10:40～12:00 技術開発(1) / 座長:坂本 守

- VI-844 遠隔操作技術を用いたトンネル吹付けシステムの開発／熊谷組 [正] 新宮 信也・徳永 英人・尾畑 洋・坂西 孝仁
- VI-845 トンネル覆工を対象とした型枠ヒータリングの技術に関する基礎的研究／佐藤工業土木事業本部設計部 [正] 渡辺 晋吾・北川 真也・斎藤 達也・宇野 洋志城
- VI-846 トンネル覆工コンクリートを対象とした撥水型枠の基礎的研究／佐藤工業 [正] 豆田 憲章・森濱 哲志・北川 真也・宇野 洋志城
- VI-847 河道閉塞に伴う暗渠排水管の急速施工法の開発／大成建設株式会社 [F] 森田 泰司・阿部 智彦
- VI-848 河道閉塞に伴う暗渠排水管の急速施工法の開発 薬液注入による管内止水実験／日特建設 [正] 阿部 智彦・森田 泰司
- VI-849 止水型コンクリートカッティング地中連続壁の開発／大成建設 [正] 西田 与志雄・平山 哲也・大高 信雄
- VI-850 薬液を用いた自立削孔技術の開発／東京都市大学大学院 [正] 杉浦 陽子・末政 直晃・佐々木 隆光
- VI-851 大深度立坑における止水グラウト排水用の超高揚程ポンプの開発／大成建設株式会社 [正] 中澤 慶介・須藤 正大・白瀬 光泰・名合 牧人・押野 善之

■15:20～16:40 技術開発(2) / 座長:田中 亮一

- VI-852 吸引工法(潜行吸引式排砂管)の現場適用に向けた塵芥等の前処理手法に関する一検討／国立研究開発法人 土木研究所 水工研究グループ 水理チーム [正] 宮川 仁・楠見 正之・本山 健士・木村 政俊
- VI-853 吸引工法によるダム堆砂処理時等の濁水への対策手法の一提案／大成建設 [正] 楠見 正之・赤塚 真依子・宮川 仁・本山 健士
- VI-854 ガス管敷設工事における長距離流動性・充填性に優れた中詰材の基本性能／奥村組技術研究所 [正] 廣中 哲也・青柳 成彰・瀧川 信二・吉田 智哉・三澤 孝史
- VI-855 樹脂注入による豆板補修工法の実構造物への適用／東日本旅客鉄道 [正] 丸子 文之・佐々木 尚美・本田 諭
- VI-856 豆板注入補修工のトンネル覆工への適用について／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 岩井 俊且・鈴木 尊・松田 康紀
- VI-857 トンネル覆工内部の豆板を対象とした豆板注入補修工の試験施工について／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 橋場 一富・鈴木 航・大谷 厚至
- VI-858 R/C床版ハンチ部省工程剥落防止材の現場試験施工／モチヅキ [正] 望月 航

VI-859 貯蔵タンク底板コーティングへの誘導加熱式塗装剥離工法の適用／(株)横河ブリッジ新港事業所 [正] 笹嶋 純司・日野 竜幸・小城 孝次・白水 晃生

■17:00～18:20 技術開発(3) / 座長:宇野 昌利

- VI-860 光ファイバーを用いたコンクリート充填検知技術の開発 (その1) ー要素実験による光ファイバーの適用性検討ー／銭高組 [正] 角田 晋相・原田 尚幸
- VI-861 光ファイバーを用いたコンクリート充填検知技術の開発 (その2) ー充填検知性能確認実験ー／銭高組 [正] 原田 尚幸・角田 晋相
- VI-862 地中連続壁高強度コンクリートカッティング実験における振動計測／大成建設株式会社 [正] 近藤 高弘
- VI-863 地中障害物探索のための電磁波レーダ性能確認試験／東日本旅客鉄道 [正] 関塚 貴一・加藤 精亮・竹田 茂嗣・藤枝 繁
- VI-864 画像による打継面処理状態の簡易評価方法の改良／鹿島建設株式会社 [正] 佐野 雄紀・今井 道男・柳井 修司・松本 修治・曾我部 直樹
- VI-865 斜面崩壊の簡易危険検出システムの開発／労働安全衛生総合研究所 [正] 玉手 聡・堀 智仁
- VI-866 iBeacon活用の工事概要案内システムの現場試験／清水建設 [正] 宮瀬 文裕・内田 理恵・藤枝 達也・米山 文雄・藤原 泰明
- VI-867 ため池での転落時に脱出しやすい布製型枠による法面保護工の開発／太陽工業株式会社 [正] 山本 浩二・石田 正利・川岸 靖

平成29年度9月12日(火) VI-13会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2409教室)

■9:00～10:20 施工計画(5) / 座長:木村 聡

- VI-868 土質別土量を考慮した、粘性土と砂質土の互層での高盛土計画／大成建設 [正] 斎藤 博行・岩崎 孝夫
- VI-869 高盛土工の設計・施工について／西日本高速道路株式会社 [正] 山口 卓位
- VI-870 工程短縮を目的とした地盤改良工法変更についての一考察／清水建設株式会社 [正] 前田 周吾・大塩 隆・赤松 諒亮・永峯 崇二
- VI-871 谷戸地での締固め地盤改良の計画と施工管理／大成建設 [正] 近藤 令子・岩崎 孝夫・宮崎 尚人・曾田 靖章
- VI-872 山口市大浦一般廃棄物最終処分場埋立処分施設における土木造成工事／熊谷組 [正] 野村 泰之・田邊 大次郎・吉村 丈晴・大田 光孝・杉本 真一
- VI-873 大規模崩壊斜面直下における無人化施工の実績／鹿島建設株式会社 [正] 松本 健太郎・江口 健治
- VI-874 傾斜地でのメガソーラー架台基礎の配置計画と実施例／(株)大林組 [正] 玉井 礼子・定政 啓・三浦 国春・亀田 雄二
- VI-875 急峻な法面における鉄道橋脚耐震補強の仮設計画／東鉄工業株式会社 [正] 松山 一紀・濱野 翔太・鬼塚 信

■10:40～12:00 施工計画(6) / 座長:中出 剛

- VI-876 ニューマチックケーソンにおける制御発破による周辺環境へ影響低減について／前田建設工業株式会社 [正] 山田 倫・満田 昭弘・新青木 一利
- VI-877 圧入ケーソン工事における電力用トンネルとの超近接施工事例／大林組 [正] 高野 金幸・本間 英貴・高橋 正登・久保寺 家光・宮田 健治朗
- VI-878 ケーソン沈設に伴う近接水管への影響低減対策について／清水建設株式会社 [正] 白田 隆一郎・佐藤 元信・遠藤 和雄
- VI-879 既設地下駐輪場 に近接した新設杭打設のための支障物撤去工／清水建設 [正] 高橋 威雄・宮元 大輔・浅香 貴俊・石本 昌大
- VI-880 鉄道高架橋近傍での開削工事における土留め壁の変形抑制対策／清水建設 [正] 長澤 綾美・平井 孝幸
- VI-881 駅改良計画における仮橋脚による既存ホームの変位制御について／J R 東日本 東京工事事務所 [正] 元尾 秀行・鈴木 悠太・松岡 恭弘
- VI-882 埋設物輻輳箇所での開削工法による地下道工事の仮設計画／清水建設 [正] 中谷 篤人・平井 孝幸・寺尾 昂・内藤 健
- VI-883 P I C フォームを用いたH鋼埋込桁の施工実績／鹿島建設株式会社 [正] 板野 次雅・林 宏延・中村 佳大

平成29年度9月13日(水) VI-13会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2409教室)

■9:00～10:20 地盤改良(1) / 座長:坂梨 利男

- VI-884 高圧噴射攪拌混合による橋台背面盛土のゆるみ対策に関する実証的検討 (その1) -改良形状の違いによる変位抑制効果の検討-／西日本旅客鉄道 [正] 藤原 雅仁・山田 孝弘・川西 敦士・山内 崇寛・青木葉 隆典
- VI-885 高圧噴射攪拌混合による橋台背面盛土のゆるみ対策に関する実証的検討 (その2)／前田建設工業 [正] 川西 敦士・山内 崇寛・藤原 雅仁・近藤 政弘・春名 哲弥
- VI-886 深層混合処理工法における地中障害物に対しての施工例／ライト工業株式会社 [正] 飯田 陽朗・大久保 泰宏・石黒 勇次・佐々木 慎司
- VI-887 地下鉄営業線の変状を制御した橋梁下地盤改良の施工について／大成建設 [正] 桑本 寛之・近藤 達也・川岸 康人・廣渡 隆三・津田 由治
- VI-888 超大口径高圧噴射攪拌工法の高粘性土粘性土地盤への適用／ライト工業株式会社 [正] 長崎 康司・大塩 隆・赤松 諒亮・永峯 崇二
- VI-889 次世代型大口径深層混合処理工法 (CDM-E X C E E D 工法) の開発／清水建設株式会社 [正] 遠西 幸男・原 俊郎・廣渡 隆三・森川 嘉之・北詰 昌樹
- VI-890 パワーブレンダー工法の攪拌混合時の周辺地盤への影響／株式会社加藤建設 [正] 牧野 貴哉・笹野 誠・菅野 航太

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-891	長尺地盤改良杭の施工に向けた遅延剤添加に関する配合検討／大成建設株式会社 〔正〕 富永 直輝 ・ 大塚 徳之 ・ 石井 裕泰 ・ 小島 圭介
■10:40～12:00 地盤改良(2) / 座長:足立 有史	
VI-892	防潮堤耐震工事におけるOPTジェット工法の施工事例／ライト工業(株) 〔正〕 宇梶 伸 ・ 高木 敦生
VI-893	鉤さい集積場におけるかん止堤耐震補強対策の設計施工／鹿島建設 〔正〕 富樫 昇 ・ 前田 宗宏 ・ 梅寺 誠 ・ 高橋 英樹 ・ 瀬尾 隆男
VI-894	セメント改良盛土における品質管理の合理化／鹿島建設 〔正〕 中島 悠介 ・ 小原 隆志 ・ 北本 幸義 ・ 高橋 英樹 ・ 川西 政雄
VI-895	原位置サンプリングしたセメント改良土の引張強度に関して／加藤建設 〔正〕 伊藤 正巳 ・ 佐々木 大樹 ・ 大川 拓真
VI-896	導電率による中層混合処理工法の品質管理システム／(株)大林組 〔正〕 望月 勝紀 ・ 森田 晃司 ・ 伊藤 浩邦 ・ 牧野 貴哉
VI-897	環状第5の1号線地下道路建設工事における盤ぶくれ対策の工法変更／清水建設株式会社 〔正〕 宮元 大輔 ・ 濱田 健 ・ 西川 貴規 ・ 高橋 威雄 ・ 益成 一郎
VI-898	堆積軟岩における割れ目帯を対象とした物質移行試験に極超微粒子セメントを適用した深層調査ボーリングの施工事例／大成・大林・三井住友特定建設工事共同企業体 〔正〕 白瀬 光泰 ・ 安倍 章正 ・ 名合 牧人 ・ 石井 英一 ・ 青柳 和平
VI-899	貫通施工による地下鉄営業線直下の地盤改良工－相鉄・東急直通線新横浜駅地下鉄交差部工事－／鹿島建設(株) 〔正〕 菅谷 基規 ・ 野口 弘毅 ・ 杉崎 操 ・ 矢野 孝司 ・ 岩下 直樹

■15:20～16:40 地盤改良(3) / 座長:石井 裕泰

VI-900	中層混合処理工による遮断壁を用いた真空圧密工および盛土工施工時の周辺地盤への影響について／大林組 〔正〕 越智 宏充 ・ 伊藤 智治 ・ 佐々木 徹 ・ 金田 和男 ・ 小宮 奈保子
VI-901	真空圧密工運転停止、載荷盛土撤去後の基礎地盤の挙動について／大林組 〔正〕 豊嶋 宏幸 ・ 伊藤 智治 ・ 佐々木 徹 ・ 金田 和男 ・ 小宮 奈保子
VI-902	真空圧密工および載荷盛土併用による基礎地盤の改良効果／大林組 〔正〕 今岡 洋輔 ・ 伊藤 智治 ・ 金田 和男 ・ 小宮 奈保子
VI-903	改良深度の深い地盤で採用した真空圧密工法の改良先端での有効性／大林組 〔正〕 佐々木 徹 ・ 青池 祥平 ・ 金田 和男 ・ 小宮 奈保子
VI-904	TRD工法を採用した日比谷線虎ノ門新駅(仮称)工事／東京地下鉄(株) 〔正〕 坂田 聡 ・ 佐久間 穠 ・ 野崎 祐祐
VI-905	地下ダム工事におけるSMW止水壁の出来形管理について／西松建設 〔正〕 小野 敦 ・ 羽山 里志 ・ 高村 浩彰
VI-906	砂質地盤にて分散剤を用いたソイルセメント柱列式連続壁工法における施工性と止水壁としての性能維持について／ジェコス株式会社 〔正〕 岩崎 伸一 ・ 後藤 健治 ・ 石田 哲朗 ・ 林 ヨシユキ
VI-907	地下調整池工事における地盤改良の施工事例／大林組 〔正〕 福田 周司 ・ 巨知 琢也 ・ 下田 剛史 ・ 貫井 孝治

平成29年度9月11日(月) VI-14会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2408教室)

■9:00～10:20 検査技術・診断(1) / 座長:阪本 泰士

VI-908	ひびわれ指数(TC1)による覆工の変状原因推定について／高速道路総合技術研究所 〔正〕 前田 佳克 ・ 八木 弘 ・ 水野 希典 ・ 海瀬 忍 ・ 重田 佳幸
VI-909	トンネル全断面点検・診断システムの開発(その2) ひび割れ自動検出／東急建設 〔正〕 伊藤 正憲 ・ 井上 大輔 ・ 上野 隆雄 ・ 中村 聡 ・ 高橋 悠輔
VI-910	レーザを用いた新幹線トンネル覆工コンクリート欠陥検査手法の開発／西日本旅客鉄道株式会社 〔正〕 御崎 哲一 ・ 保田 尚俊 ・ 島田 義則 ・ 篠田 昌弘 ・ 江 茂夫
VI-911	橋梁点検ロボットシステムBRIDGEVIEWの開発／建設技術研究所 〔正〕 石田 辰英 ・ 茂男 茂男 ・ 塚越 秀行
VI-912	アクアジャスターを搭載した枝橋下面点検ロボットの現場実証試験／大林組 〔正〕 濱地 克也 ・ 沼崎 孝義 ・ 三輪 徹 ・ 江原 雅洋 ・ 青山 裕作
VI-913	ワイヤロープを利用した橋梁点検について／ネクスコ東日本エンジニアリング 〔正〕 赤尾 駿太郎 ・ 志村 充伸 ・ 大滝 政博
VI-914	社会インフラの点検高度化に向けたロボット技術活用支援についての研究開発／国立研究開発法人 土木研究所 〔正〕 林 利行 ・ 藤野 健一 ・ 梶田 洋規 ・ 吉田 好孝 ・ 安井 成豊
VI-915	打撃力波形によるコンクリート舗装版ジョイント部の健全性診断手法の検討／(株)土谷組 〔正〕 森 清根 ・ 秋松 和正 ・ 波岡 雅昭

■10:40～12:00 検査技術・診断(2) / 座長:松田 敏

VI-916	広帯域AEセンサを用いたPC鋼材の腐食破断に関する実験的研究／(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 〔正〕 榎岡 正義 ・ 谷倉 泉 ・ 萩原 直樹 ・ 豊田 雄介
VI-917	PCグラウト充填率判定システムの開発／西日本高速道路エンジニアリング中国 〔正〕 前田 良文 ・ 松永 嵩 ・ 小川 良太 ・ 匂坂 充行 ・ 藤吉 宏彰
VI-918	ガードレール支柱の健全性診断技術開発／原子燃料工業株式会社 〔正〕 匂坂 充行 ・ 磯部 仁博 ・ 前田 良文 ・ 松永 嵩 ・ 小川 良太
VI-919	加振レーダ法によるコンクリート構造物の鉄筋腐食量評価技術の開発(1)－RC供試体による原理検証－／群馬大学 〔正〕 榎岡 空司 ・ 本多 秀聡 ・ 中川 貴之 ・ 志岐 仁成
VI-920	加振レーダ法によるコンクリート構造物の鉄筋腐食量評価技術の開発(2)－実構造物での適用性試験結果に関する報告－／東電設計 〔正〕 志岐 仁成 ・ 鬼束 俊一 ・ 三輪 空司 ・ 本多 秀聡
VI-921	X線を使用したセグメントの鉄筋応力測定に関する要素試験(その1)－セグメントの鉄筋の応力測定－／東京電力パワーグリッド株式会社 〔正〕 尾崎 潤 ・ 吉本 正浩 ・ 小椋 明仁 ・ 阿南 健一 ・ 野末 秀和
VI-922	X線を使用したセグメント鉄筋応力測定に関する要素試験(その2)－残留ひずみが存在する場合の応力測定－／東京電力パワーグリッド株式会社 〔正〕 吉本 正浩 ・ 小椋 明仁 ・ 尾崎 潤 ・ 阿南 健一 ・ 野末 秀和

VI-923	トンネル内路盤コンクリートの健全度評価法に関する検討／J R西日本 〔正〕 坂本章章 ・ 近藤 政弘 ・ 小山 真 ・ 新谷 星児
--------	---

■15:20～16:40 検査技術・診断(3) / 座長:森 康雄

VI-924	川上川橋りょうにおける河床ブロックの変状に関する考察とその対策工事／東海旅客鉄道(株)東海鉄道事業本部 〔正〕 荻谷 俊吾
VI-925	鋼鉄道橋の維持管理に関する研究 縦桁片側切欠き部に発生する疲労き裂について／東日本旅客鉄道株式会社 〔正〕 丹澤 裕太郎
VI-926	打音診断技術を活用したグラウンドアンカーの緊張力簡易計測システムの開発(その1)／原子燃料工業株式会社 〔正〕 松永 嵩 ・ 浜崎 智洋 ・ 小川 良太 ・ 匂坂 充行 ・ 藤吉 宏彰
VI-927	打音診断技術を活用したグラウンドアンカーの緊張力簡易計測システムの開発(その2)／西日本高速道路(株) 〔正〕 浜崎 智洋 ・ 松永 嵩 ・ 小川 良太 ・ 匂坂 充行
VI-928	誘導路橋梁の加速度計測データを用いたたわみ変動特性の検討／成田国際空港 〔正〕 金子 雅廣 ・ 出山 裕樹 ・ 尾関 将克 ・ 稲田 裕
VI-929	誘導路橋梁の振動特性に関する解析的評価／清水建設 〔正〕 稲田 裕 ・ 金子 雅廣 ・ 尾関 将克 ・ 出山 裕樹
VI-930	有限要素法によるゴム堰用ゴム／繊維複合材の内部応力解析／(国研) 土木研究所 〔正〕 中村 弘之 ・ 新田 弘之 ・ 百武 壮
VI-931	橋梁の構造同定による性能評価と安全性評価に関する研究／長崎大学大学院工学研究科 〔学〕 河村 太紀 ・ 木本 啓介 ・ 森田 千尋 ・ 西川 貴文 ・ 松田 浩

■17:00～18:20 検査技術・診断(4) / 座長:田辺 重男

VI-932	超音波を用いたカッタービットのろう付面積評価の推定精度に及ぼす測定条件の影響／有明工業高等専門学校 〔正〕 岩本 達也 ・ 境 駿一 ・ 佐々木 誠 ・ 森田 泰司 ・ 高倉 克彦
VI-933	使用済みビットの再利用を目的とした超硬チップの健全性評価方法／株式会社丸和技研 〔正〕 佐々木 誠 ・ 森田 泰司 ・ 岩本 達也 ・ 嘉屋 文康 ・ 竹中 計行
VI-934	使用済みビットの損傷分析と超硬チップ健全性評価の検討／丸和技研 〔正〕 緒方 勤 ・ 森田 泰司 ・ 高倉 克彦 ・ 嘉屋 文康
VI-935	AEセンサを用いた打音検査システムによるメカニカルアンカ検査技術の開発3／原子燃料工業 〔正〕 小川 良太 ・ 磯部 仁博 ・ 岡本 智文 ・ 松永 嵩 ・ 匂坂 充行
VI-936	音響探査法を用いたコンクリート表面層欠陥探査技術の開発－吹付けコンクリートへの適用性検討－／桐蔭横浜大学 〔正〕 杉本 恒美 ・ 歌川 紀之 ・ 金子 岳夫 ・ 志岐 仁成 ・ 杉本 和子
VI-937	音響探査法を用いたコンクリート表面層欠陥探査技術の開発－長距離計測に関する検討(Ⅱ)－／桐蔭横浜大学 〔正〕 上地 樹 ・ 川上 明彦 ・ 歌川 紀之 ・ 杉本 恒美 ・ 杉本 和子
VI-938	音響探査法を用いたコンクリート表面層欠陥探査技術の開発－健全全部評価に関する検討(Ⅱ)－／桐蔭横浜大学 〔正〕 杉本 和子 ・ 杉本 恒美 ・ 歌川 紀之 ・ 黒田 千歳
VI-939	赤外線熱計測によるトンネルコンクリートの浮き・剥離の検出割合向上に関する検討／清水建設株式会社 〔正〕 久保 昌史 ・ 川上 幸一 ・ 瀬岡 新弥 ・ 佐々木 孝太 ・ 中山 聡子

平成29年度9月12日(火) VI-14会場 (九州大学伊都キャンパス センター2号館2408教室)

■9:00～10:20 検査技術・診断(5) / 座長:木村 政俊

VI-940	蛍光X線分析計を用いたコンクリート表面塩分調査／本州四国連絡高速道路 〔正〕 堤 仁志 ・ 麓 興一郎 ・ 小川 和也
VI-941	画像解析を用いたコンクリート部材の切断面の粗骨材分布の計測に関する検討／安藤ハザマ 〔正〕 野間 康隆 ・ 小池 悟
VI-942	RPR塗膜剥離工法を用いたタンク底部塗膜剥離時における底板裏への熱影響実験の報告／コスモエンジニアリング 〔正〕 近 信明 ・ 坂東 佑亮 ・ 養父 重紀
VI-943	赤外線サーモグラフィを用いた温度ギャップ計測による亀裂検出の高度化／本州四国連絡高速道路 〔正〕 溝上 善昭 ・ 森山 彰 ・ 奥村 淳弘 ・ 和泉 遊以 ・ 阪上 隆英
VI-944	温度ギャップ検出赤外線サーモグラフィ法による裏面亀裂の検出／滋賀県立大学院 〔学〕 上西 広稔 ・ 和泉 遊以 ・ 阪上 隆英 ・ 溝上 善昭 ・ 森山 彰
VI-945	橋梁コンクリートの表層領域に生じる劣化進捗と初期欠陥に関する研究／西日本高速道路エンジニアリング四国 〔正〕 永易 慎二 ・ 橋本 和明 ・ 松田 靖博 ・ 林 和彦 ・ 石田 哲也
VI-946	高周波衝撃弾性波法を用いた熊本地震被害基礎杭調査精度について／(株)第一テクノコンサルタンツ 〔正〕 塩月 隆久 ・ 甲斐 健之
VI-947	応答部材角測定装置による鉄道RC高架橋地震時モニタリングシステムの構築／株式会社計測リサーチコンサルタンツ 〔正〕 濱田 弘志 ・ 仁平 達也 ・ 濱上 洋平 ・ 西條 敦志 ・ 宮本 則幸

■10:40～12:00 検査技術・診断(6) / 座長:西村 毅

VI-948	公共事業に新技術を活用する際の障害と対策に関する考察／岐阜大学大学院 〔学〕 蓮池 里葉 ・ 矢島 賢治 ・ 木下 幸治 ・ 羽田野 英明 ・ 六郷 恵哲
VI-949	光ファイバセンサによる水路トンネルモニタリング／北海道電力 〔正〕 池田 圭甫 ・ 今井 道男
VI-950	ドローンを用いた鉄道土木構造物検査の検討／J R西日本 〔正〕 渥美 知宏 ・ 唐木 大輔 ・ 清水谷 美佳 ・ 中山 太士 ・ 岡本 陽介
VI-951	局所的な共振周波数の測定に基づくRC床版供試体の損傷評価／株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北 〔正〕 黒澤 由樹 ・ 阿部 公一 ・ 内藤 英樹
VI-952	点検業務を支援する道具(重畳機能電子野帳)の開発／西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社 〔正〕 東 克徳 ・ 田中 克則
VI-953	道路構造物の損傷判定適正化に向けた統計的手法の検討／西日本高速道路エンジニアリング中国(株) 〔正〕 鈴木 正範
VI-954	モバイルPCを活用した橋梁点検効率化への取り組み／(株)ネクスコ東日本エンジニアリング情報システム部 〔正〕 谷 栄剛 ・ 羽田野 恒 ・ 大澤 誠司

平成29年度土木学会全国大会 第72回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-955 開口合成フェーズドアレイ探傷による鋼床版デッキ貫通型き裂検知精度の検証／首都高速道路技術センター〔正〕村野 益巳・村越 潤・森 猛・唐沢 博一・高橋 勝朗

平成29年度9月13日（水） VI-14会場（九州大学伊都キャンパス センター2号館2408教室）

■9:00～10:20 検査技術・診断(7) / 座長:羽瀨 貴士

- VI-956 電気化学的手法を用いたタイロッドの健全度評価技術に関する基礎的検討／(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構〔正〕山本 幸治・染谷 望・加藤 絵万・田土弘人・星野 正美
- VI-957 ダム上流面の水中部における水中調査ロボットの点検・調査／五洋建設〔正〕水野 剣一・杉本 英樹・武井 俊哉・森屋 陽一・小笠原 哲也
- VI-958 瀬戸内海に面する海岸護岸の維持管理方法に関する一考察／西日本旅客鉄道株式会社〔正〕北里 龍馬・西田 幹嗣・内田 祐太・藤村 義和
- VI-959 ラジコンボートを用いた点検困難箇所への取り組み／ネクスコ東日本エンジニアリング〔正〕大根田 俊平・高櫻 裕一・志村 充伸
- VI-960 目視困難な水中部での鋼材腐食等への非破壊検出技術の適用による現場作業の効率化／若築建設株式会社〔正〕秋山 哲治・金子 貴一・田沼 遊太郎
- VI-961 波浪特性からみた海岸護岸の被災要因に関する研究／西日本旅客鉄道〔正〕濱野 智紀・青木 伸一・内海 輝昭
- VI-962 生物付着等のある埋設導水鋼管における板厚測定ロボットの現地検証および評価／日本工営株式会社〔正〕中山 宣洋・松田 貞則・中村 雄司・西川 一基
- VI-963 ゴム堰におけるゴム袋体の損傷検知手法に関する研究／土木研究所〔正〕中島 淳一・藤野 健一・梶田 洋規・伊藤 圭・新田 弘之

■10:40～12:00 検査技術・診断(8) / 座長:戸田 勝哉

- VI-964 非破壊検査機器を用いた点検による近接目視点検代替検証／西日本高速道路エンジニアリング関西〔正〕江藤 優馬・松井 俊吾・坂口 和也・榎本 明博
- VI-965 非破壊検査機器を用いた点検の適用範囲検証／西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社〔正〕松井 俊吾・坂口 和也・江藤 優馬・榎本 明博
- VI-966 ステレオ画像処理技術の分岐器検査への適用／鉄道総合技術研究所〔正〕坪川 洋友・坪川 洋友・石川 智行・塩野 幸策
- VI-967 多視点画像三次元モデルの土木構造物維持管理への適用に向けた新たな試み／アジア航測〔正〕新名 恭仁・笹田 航平・小林 裕介・野中 秀樹・西岡 英俊
- VI-968 映像処理技術等を活用した橋りょう挙動把握の精度検証について／東日本旅客鉄道〔正〕松尾 賢・小林 泰一郎・松岡 弘大・上半 文昭・日下 博也
- VI-969 トンネル覆工画像取得車両の形状計測検証の試行／日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所〔正〕伊吹 真一・新田 恭士・安井 成豊・寺戸 秀和
- VI-970 保守用車を用いた防音壁隙間計測方法の提案／西日本旅客鉄道株式会社〔正〕山崎 友裕・中澤 明寛・米山 義広・内田 修
- VI-971 赤外線熱画像と可視画像を用いた画像診断技術による火力発電所R C煙突調査／清水建設株式会社〔正〕河野 貴之・久保 昌史・天野 勲

■15:20～16:40 検査技術・診断(9) / 座長:松井 雅紀

- VI-972 維持管理困難部位に着目した点検要領の改訂／国際航業〔正〕伊礼 貴幸・木下 万博・香川 紳一郎
- VI-973 3 径間連続上路鈑桁の主桁腹板に生じた亀裂について／東日本旅客鉄道株式会社〔正〕石川 智博・高見 満・大島 博之
- VI-974 市販デジタルカメラとフリーソフトを活用した橋梁健全度診断事例／京橋ブリッジ(株)〔正〕公門 和樹・並木 宏徳
- VI-975 鉄筋コンクリート床版内部の非破壊検査方法／首都高技術〔正〕布施 光弘・影澤 雅人・亀岡 誠
- VI-976 道路橋狭隙部の外観性状調査機器の性能評価試験に関する研究／国土交通省国土技術政策総合研究所道路構造物研究部橋梁研究室〔正〕宮原 史・星隈 順一・白戸 真大・中邨 亮太
- VI-977 画像変位計測を用いたコンクリート床版不具合検知に関する実験的検討／大林組〔正〕谷田部 勝博・富井 孝喜・今井 浩・高田 巡
- VI-978 S H F 帯地中レーダ信号の時変逆畳込み演算による R C 床版内部の損傷の高感度検知／東京大学大学院〔学〕山口 貴浩・水谷 司・垂水 稔
- VI-979 近接目視による点検が困難な橋梁の点検手法／首都高技術株式会社〔正〕折笠 智紀・村上 裕真・布施 光弘・濱野 裕己・齊藤 公一郎